



Kekkaku

結核

▼ 読みたい項目をクリックしてください

Vol. 100 No.3 2025

第100回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会 講演集/横浜

| | |
|---------------------------------|---------|
| ・ <u>総会概要／各種研究会開催案内</u> | 1-11 |
| ・ <u>交通案内図会場／会場案内図</u> | 12-14 |
| ・ <u>役員会日程</u> | 15 |
| ・ <u>総会日程</u> | 16-19 |
| ・ <u>第100回日本結核・非結核性抗酸菌症学会目次</u> | 20-64 |
| ・ 会長講演 | 69 |
| ・ 100周年記念式典 | 73 |
| ・ 特別講演 | 77-78 |
| ・ 招請講演 | 81 |
| ・ 教育講演 | 85-91 |
| ・ シンポジウム | 95-118 |
| ・ 国際シンポジウム | 121 |
| ・ 共同企画 | 125-130 |
| ・ エキスパート委員会企画セミナー | 133-138 |
| ・ 医学生・研修医セミナー | 141 |
| ・ ICD講習会 | 145-146 |
| ・ 一般演題（ポスター） | 149-201 |
| ・ 索引（演題番号） | 204-210 |

日本結核・非結核性抗酸菌症学会

THE JAPANESE SOCIETY FOR TUBERCULOSIS AND NONTUBERCULOUS MYCOBACTERIOSIS



第100回日本結核・非結核性抗酸菌症学会 学術講演会の開催にあたり

会長 **長谷川直樹**

(慶應義塾大学医学部感染症学教室)

慶應義塾大学医学部感染症学教室の長谷川直樹です。本学会は結核研究の結核対策の進展のための学術団体として1923年に北里柴三郎先生が日本結核病学会として設立され、同年に第1回目の学術集会を東京で開催されました。以来、先人の並々ならぬご尽力結果、我が国の結核は世界にも類を見ないスピードで減少し、2021年にはつい人口10万人あたりの新規患者数が10を下回り、2022年にはさらに8.2まで低下し、WHOの定める結核低蔓延国になりました。100回の節目の学術講演会を迎えて、結核が低蔓延国入りしたことは本学会のミッションは一部果たされたとも言えます。我が国の特徴である高齢者結核も今後の多死社会の中で確実に減少し、結核罹患率のさらなる低下が予測されますが、それと表裏をなす未感染者が増加と、結核が若年者の輸入感染症となってゆく様相、さらに制御が困難な空気感染である点を鑑みると今後も油断はできません。さらに、結核病棟の閉鎖、結核病床の削減が進み、結核の診療経験の機会が減少する中で、結核医療の体制を根本的に見直す時期を迎えていると言えます。

一方、同じ抗酸菌症でも非結核抗酸菌（NTM）症は呼吸器感染症を中心に、医療関連感染症、様々な先天性および後天性の免疫不全状態に合併する慢性難治性感染症として患者数は世界的に増加傾向にあり、人から人への感染を示唆する報告も散見されます。また、多くの薬剤に自然耐性を有し、効果の期待できる薬剤が乏しいNTMは薬剤耐性菌としても注目され始めました。本学会でも学会名にもとり入れられ、ますます重要なテーマになっていることは周知であります。NTM関連の研究の進歩は必ずや結核制圧にも通じると思います。

本学術講演会が我が国の結核医療の歴史と先人達の功績を改めて知る機会（継往開来）になるとともに、様々な先進技術を取り入れながら結核低蔓延状態の維持、さらなる制圧、そしてNTM症という新たな課題に向けて、医療体制、研究の新たな展開へのきっかけ（一新紀元）になれば幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第100回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会 プログラム委員

長谷川 直樹 (会長), 南宮 湖 (事務局長), 松本 壮吉, 御手洗 聡, 小野崎 郁史, 山本 善裕, 田坂 定智,
泉川 公一, 佐々木 結花, 露口 一成, 伊藤 明広, 大角 晃弘, 森本 耕三, 中川 拓 (順不同)

第 100 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会

I. 会長，テーマ，会期および会場

1. 会長 長谷川 直樹（慶應義塾大学医学部感染症学教室）
2. テーマ「抗酸菌症制圧に向けて 継往開来と一新紀元」
3. 会期 2025 年 6 月 6 日（金）・6 月 7 日（土）
4. 会場 パシフィコ横浜 会議センター
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

II. 参加者の皆様へ

1. オンライン参加登録

第 100 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会 WEB サイト

<https://www.kekkaku.gr.jp/jst100/>

【参加登録期間】5 月 1 日（木）12 時（正午）～7 月 2 日（水）12 時（正午）

※参加費（詳細は下記 3 を参照）のお支払いは、クレジットカード決済のみとなりますが、クレジットカードが不可の場合は、銀行振込でも対応いたしますので、運営事務局（100jst@convention-plus.com）までお知らせください。振込先口座をご案内いたします。

※現地会場（パシフィコ横浜 会議センター）でも参加登録は可能ですが、参加費のお支払いは現金のみとなります。

2. 参加受付

場所：パシフィコ横浜 会議センター 5F フォワイエ

日時：6 月 6 日（金）8 時～17 時

6 月 7 日（土）7 時 30 分～14 時

3. 参加費

正会員：18,000 円

非会員：18,000 円

非会員のメディカルスタッフ：10,000 円

エキスパート会員：4,000 円

※正会員とは、医師、医科学研究者、等で電子版学会誌の閲覧および会員ホームページの閲覧権利を有する方です。エキスパート会員とは、看護師、准看護師、保健師、理学療法士、栄養士・管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、等で、電子版学会誌の閲覧および会員ホームページの閲覧権利を有する方です。

初期臨床研修医、学生会員、医学・医学部学生、看護学部学生、看護専門学生等：無料

※参加登録時に学生証などの証明できるデータ（JPEG, PDF など）のアップロードが必要です。

※大学院生は有料です（18,000 円）。

名誉会員・功労会員・招待（非会員の座長・演者など）：無料

※当日、会場の参加受付（パシフィコ横浜 会議センター 5F フォワイエ）にお越しいただきましたら、ネームカードをお渡しいたします。オンライン参加登録は不要です。

団体会員・賛助会員：各個人会員ごとの参加費が必要です。学会事務局へご連絡ください。

[領収書]

オンライン参加登録

参加費の決済完了後、参加登録のマイページからダウンロード（保存・印刷）が可能となります。

現地会場

参加受付で参加費を現金でお支払いいただいた後、お渡しいたします。

[参加証明書]

現地会場

参加受付でお渡しします。

※オンライン参加登録, 現地参加登録共通です。

オンデマンド配信

オンライン参加登録ならびに参加費の決済が完了した後, 参加登録のマイページからダウンロード(保存・印刷)が可能となります。

※ダウンロードは, オンデマンド配信が開始する6月12日(木)12時からとなります。

4. 開催形式

本学術講演会は現地会場(パシフィコ横浜 会議センター)での開催のみとなり, ハイブリッド開催やWEB開催でのライブ配信はございませんが, 6月12日(木)12時からオンデマンド配信を行います(一部セッションを除く, 詳細は下記5を参照)。

5. オンデマンド配信期間

下記の期間, 好きな時間に何度でも視聴が可能です。

6月12日(木)12時~7月2日(水)23時59分

オンデマンド配信では, 下記のセッションが視聴可能です。

- ・招請講演
- ・特別講演
- ・会長講演
- ・教育講演
- ・シンポジウム(生涯教育セミナー)
- ・シンポジウム
- ・国際シンポジウム
- ・共同企画
- ・エキスパート委員会企画セミナー
- ・医学生・研修医セミナー
- ・ランチョンセミナー(一部)
- ・スポンサーセッション(一部)

※今後変更になる場合もございます。詳しくは本学術講演会WEBサイトをご確認ください。

シンポジウム(生涯教育セミナー)とエキスパート委員会企画セミナーは, オンデマンド配信でも受講は可能です。「生涯教育セミナー参加証」「エキスパート委員会企画セミナー参加証」は, オンデマンド配信の視聴ページから発行(ダウンロード)が可能となります。

※発行(ダウンロード)は, 受講が完了したことを学会事務局で確認した後にとなります。

6. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会「結核・抗酸菌症認定医/指導医」, 「抗酸菌症エキスパート」の研修単位
総会出席: 20単位

生涯教育セミナー受講: 30単位 ※単位の加算は不可

エキスパート委員会企画セミナー出席: 10単位(例: 午前中3講座受講により10単位)(会期中の単位は30単位まで加算可)

7. 企業展示, 書籍展示

場所: パシフィコ横浜 会議センター 3F フォワイエ

日時: 6月6日(金)9時~18時

6月7日(土)8時30分~15時

8. クローク

場所: パシフィコ横浜 会議センター 4F 413

日時: 6月6日(金)8時~19時

6月7日(土)7時30分~18時

※PC, 傘, 貴重品はお預かりできませんので, ご自身で管理をお願いいたします。

9. 共催セミナー (ランチョンセミナー, スポンサーセッション)
整理券の配付はございません。
10. 質疑をされる皆様へ
質問・発言をされる方はあらかじめマイクの横で待機の上, 座長の指示に従い所属, 氏名を述べてからご発言ください。
なお, 発言は簡潔をお願いいたします。
オンデマンド配信での質疑応答はございません。
11. その他注意
 - ・会場内での撮影, 録音は原則禁止です。
 - ・施設内は禁煙です。
 - ・会期中の呼び出しは, 緊急の場合以外はいたしません。
 - ・会場内での携帯電話の使用はお控えください。
 - ・オンデマンド配信での視聴で掲載されるスライド, 画像, 動画等に関して, ビデオ撮影・録音・写真撮影 (スクリーンショットを含む) は禁止します。
 - ・参加登録後の取り消しは, お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので, 二重登録にご注意ください。
12. お問い合わせ先
第 100 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会運営事務局
株式会社コンベンションプラス
〒113-8538 東京都文京区湯島 2-31-14 ルーシッドスクエア湯島 5F
TEL : 03-4355-1137 (平日 10 時~18 時, 土日祝を除く) E-mail : 100jst@convention-plus.com

Ⅲ. 指定演題・優秀演題発表 (若手・一般)

座長の方へ

1. ご担当セッション開始 10 分前までに, 次座長席 (各会場右側前方) にご着席ください。
2. 進行は座長に一任いたします。

演者の方へ

1. 発表時間: 事前にお知らせした時間でのご講演をお願いいたします。
2. 舞台上に時計装置が設置してあります。発表終了 1 分前に黄色, 終了時に赤色のランプが点灯します。
時間厳守にご協力ください。
3. 演者の方は発表の 20 分前までに, 次演者席 (各会場内左側前方) にお越しください。

PC 発表

1. PC 受付

場所: パシフィコ横浜 会議センター 3F フォワイエ

日時: 6 月 6 日 (金) 8 時~17 時 30 分

6 月 7 日 (土) 7 時 30 分~15 時

Windows ノート PC の持ち込み, USB メモリによる受付が可能です。

Macintosh ノート PC をご持参ください。USB メモリによる受付はできません。

※発表の 60 分前までに, 上記 PC 受付にて発表データの試写・受付をおこなってください。

※MacOS で作成された PowerPoint のデータ受付は可能ですが, 事前に Windows 環境で再生可能かご確認ください。Keynote を利用の方はノート PC をご持参ください。

2. データ作成

- ・スライドの画面サイズは「16:9」を推奨しますが, 「4:3」も可能です。
- ・データは最新のウイルス駆除ソフトにてチェックをお済ませの上, ご持参ください。

3. USB メモリによる受付

- ・発表用のPCは、Windows10をご用意しております。MacintoshはPC本体のお持ち込みのみ対応いたします。
- ・アプリケーションは、Microsoft PowerPoint2010以降（Office365を含む）をご利用可能です。
- ・発表用のファイル名は「演題番号_氏名」としてください。（例：演題番号_結核太郎.pptx）
- ・文字はWindows標準フォントを使用してください。
- ・動画データはPowerPointデータと同じフォルダに保存してください。万が一、会場のPCで動画が正常に動作しない場合を想定し、念のためご自身のPCもご持参ください。
- ・発表者ツールは使用できません。
- ・発表の際は演壇上のモニターで画面をご確認の上、キーボード・マウスを使用し、ご自身で操作をお願いいたします。
- ・お預かりしたデータは、学会事務局にて責任をもって消去いたします。

4. PC本体の持ち込み

- ・スリープ機能やスクリーンセーバーの設定は事前に解除してください。
- ・D-sub 15pin3列タイプまたはHDMIのコネクタで接続いたします。変換コネクタが必要な方は、必ずご自身でご用意ください。
- ・ACアダプターを必ずご持参ください。
- ・PC受付にて外部出力のチェック、発表データの試写、動作確認を行っていただいた後で、口演会場左前方PCオペレータ席まで、ご自身でPCをお持ちください。
- ・PCは、オペレータ席で接続いたします。演壇上に設置のキーパッド、マウスで操作してください。PC受付の際に、演壇上の機材についてご説明いたします。
- ・発表者ツールは使用できません。

COI（利益相反）の開示

- ・本学術講演会において、筆頭演者は、COI（利益相反）の開示が求められます。詳細は、日本結核・非結核性抗酸菌症学会のホームページ（https://www.kekkaku.gr.jp/medical_staff/）をご確認ください。
- ・発表時は、スライドの2枚目において、COI状態を開示してください。
日本結核・非結核性抗酸菌症学会ホームページより開示用スライド（「総会COIスライド例：総会開示用スライド雛形（ppt形式）」）をダウンロードしてご使用ください。

IV. 一般演題（ポスター）

スケジュール

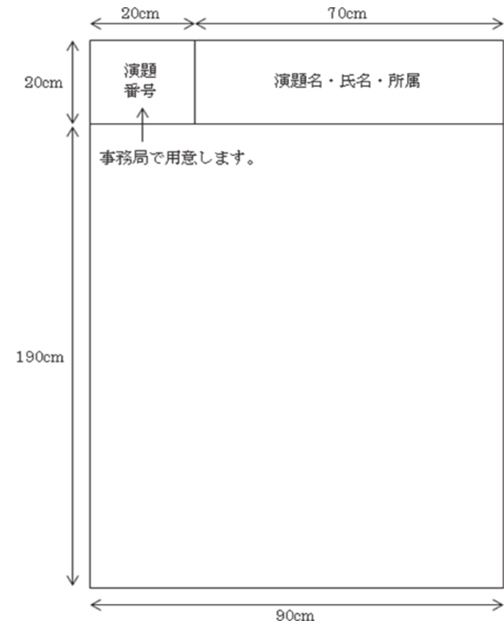
- 6月6日（金）11時10分～12時10分 ポスター会場1（パシフィコ横浜 会議センター「303+304」）
6月7日（土）10時50分～11時50分 ポスター会場2（パシフィコ横浜 会議センター「315」）

座長の方へ

1. ご担当セッション開始30分前までに、ポスター会場前のポスター受付にお越しください。座長用リボンをお渡ししますので、左胸にご着用をお願いいたします。
2. 1題あたりの発表時間は、4分（発表3分、質疑応答1分）です。進行は一任いたしますが、時間厳守をお願いいたします。

演者の方へ

1. ポスター掲示板の大きさは、横 90cm×縦 210cm です。演題名、演者、所属は、横 70cm×縦 20cm でご準備ください。演題番号は事務局で用意いたします。
2. 発表当日は、ポスター会場前のポスター受付にて貼付用の押しピンをお受け取りいただき、掲示してください。
3. 1 題あたりの発表時間は 4 分（発表 3 分、質疑応答 1 分）です。進行は座長に一任しますので、指示に従い、発表、質疑応答に参加してください。セッションの開始 10 分前までには会場にお集まりください。
4. オンデマンド配信は行いません。



V. 理事会, 社員総会, 新理事会

●理事会

6月5日(木) 13時30分～15時50分 パシフィコ横浜 会議センター 4F 414+415

●社員総会(代議員会)

6月5日(木) 16時～17時40分 パシフィコ横浜 会議センター 3F 301

●新理事会

6月5日(木) 16時30分～16時50分 パシフィコ横浜 会議センター 3F 316

※学会賞授賞式はございません。

VI. 認定制度研修単位

※日本結核・非結核性抗酸菌症学会(JSTB)学術講演会の出席は、他団体認定制度の研修単位となっています。

1. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会

(結核・抗酸菌症認定医・指導医、登録・認定抗酸菌症エキスパート 申請・更新単位)

●JSTB学術講演会

出席者：20単位 筆頭演者：5単位(認定医・指導医)・15単位(エキスパート)

●JSTB生涯教育セミナー

出席者・講師：30単位(会期中の単位は加算不可)

●JSTBエキスパート委員会企画セミナー

出席者・講師：10単位(例：午前中3講座受講により10単位)(会期中の単位は30単位まで加算可)

2. 日本呼吸器学会(呼吸器専門医 更新単位)

●JSTB学術講演会

出席者：5単位 筆頭演者：3単位

3. 日本感染症学会(感染症専門医 更新単位)

●JSTB学術講演会

出席者：3単位 筆頭演者：3単位

4. ICD制度協議会(infection control doctor 更新単位)

●JSTB学術講演会(支部会含む)

出席者：5単位 筆頭演者：2単位

●ICD講習会

出席者・講師：15単位

Ⅶ. 生涯教育セミナー

シンポジウム 2 「抗酸菌症の非薬物治療の最前線」

シンポジウム 7 「今後の退院基準を考える」

シンポジウム 8 「NTM の環境と宿主」

シンポジウム 10 「抗酸菌症の理解を深めるために基礎医学の視点から迫る」

【現地会場】

<受講申込方法>

- 受講希望者は、学術講演会当日にセミナー会場入口にて生涯教育セミナー参加証をお受け取りください。
- 受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。
- 生涯教育セミナー参加証は各自で保管してください。本参加証がないと認定医等の申請・更新の証明ができません。
- 1つのシンポジウムにつき30単位が付与されます。なお、会期中の各シンポジウムの単位は加算できません（例：シンポジウム2を受講、シンポジウム7を受講⇒付与は30単位）。

<受講時の注意>

- 30分以上の遅刻、30分以上前の早退については、原則として出席にはなりません。
- 止むを得ない場合については委員会にて判定いたしますので、セミナー会場入口にて理由をお伝えください。
- 生涯教育セミナーとICD講習会の時間は重複しませんので、両方の受講が可能です。

【オンデマンド配信】

<受講申込方法>

- 受講希望者は、学術講演会 WEB サイトから参加登録が必要です。
生涯教育セミナー参加証は受講終了後にオンデマンド配信の視聴ページから発行（ダウンロード）いただけます。
- 受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。
- 生涯教育セミナー参加証は各自で保管してください。本参加証がないと認定医等の申請・更新の証明ができません。
- 生涯教育セミナーの視聴が完了できたことを運営事務局にて確認できた後、1つのシンポジウムにつき30単位が付与されます。なお、会期中の各シンポジウムの単位は加算できません（例：シンポジウム2を受講、シンポジウム7を受講⇒付与は30単位）。

Ⅷ. エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）

【現地会場】

<受講申込方法>

- 受講希望者は、学術講演会当日にセミナー会場入口にてエキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証をお受け取りください。
- 受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。
- エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証は各自で保管してください。本参加証がないと抗酸菌症エキスパートの申請・更新の証明ができません。
- 単位付与

エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）1, 2, 3：10単位（1, 2, 3の全ての受講が必要）
 エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）4, 5, 6：10単位（4, 5, 6の全ての受講が必要）
 エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）7, 8, 9：10単位（7, 8, 9の全ての受講が必要）
 エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）10, 11, 12：10単位（10, 11, 12の全ての受講が必要）

※最大で30単位が取得可能です。

※エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）は認定/登録エキスパートの研修単位です。
認定医・指導医の研修単位にはなりません。

<受講時の注意>

- 30分以上の遅刻、30分以上前の早退については、原則として出席にはなりません。
- 止むを得ない場合については委員会にて判定いたしますので、セミナー会場入口にて理由をお伝えください。

【オンデマンド配信】

<受講申込方法>

- 受講希望者は、学術講演会 WEB サイトからオンライン参加登録が必要です。
エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証は受講終了後にオンデマンド配信の視聴ページから発行（ダウンロード）いただけます。
- 受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。
- エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証は各自で保管してください。本参加証がないと抗酸菌症エキスパートの申請・更新の証明ができません。
- エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）の視聴が完了できたことを運営事務局にて確認できた後、下記の単位が付与されます。
- 単位付与
エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）1, 2, 3：10単位（1, 2, 3の全ての受講が必要）
エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）4, 5, 6：10単位（4, 5, 6の全ての受講が必要）
エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）7, 8, 9：10単位（7, 8, 9の全ての受講が必要）
エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）10, 11, 12：10単位（10, 11, 12の全ての受講が必要）
※最大で30単位が取得可能です。
※エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）は認定/登録エキスパートの研修単位です。
認定医・指導医の研修単位にはなりません。

IX. 第481回 ICD 講習会

1. ICD 講習会に参加されますと、申請のための業績、ICD 資格更新取得点数（15点）となります。
2. お申し込み方法
 - ① ご参加につきましては、原則として事前申し込みが必要です。
 - ② 会期の1週間前までに ICD 制度協議会のホームページ (<http://www.icdjc.jp/kosyukai.html>) よりお申し込みください。
 - ③ 受付は先着順とし、定員に達し次第締め切りといたします。
 - ④ 講習会申し込みをキャンセルされる場合は、ICD 制度協議会事務局（下記5）までお知らせください。
3. お申し込み後の流れ
 - ① ICD 講習会参加証は講習会開催の1カ月前を目途に送付いたします。
 - ② 講習会当日、ICD 講習会参加証をご持参いただき、ICD 講習会会場前受付にて参加印を押しますので紛失しないように保管をお願いいたします。
4. ICD 講習会単位付与に関する注意
 - ① 遅刻・早退による単位付与はいたしておりません。
 - ② 座長による終演の言葉または案内状記載の終了予定時間までの聴講が原則です。
 - ③ 交通手段は、時間に余裕をもってご手配ください。遅刻・早退理由にはなりません。
5. お問い合わせ先
ICD 制度協議会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目28-8 日内会館 2F
一般社団法人日本感染症学会事務局内

TEL : 03-5842-5845 FAX : 03-5842-5846

E-mail : icd@theia.ocn.ne.jp

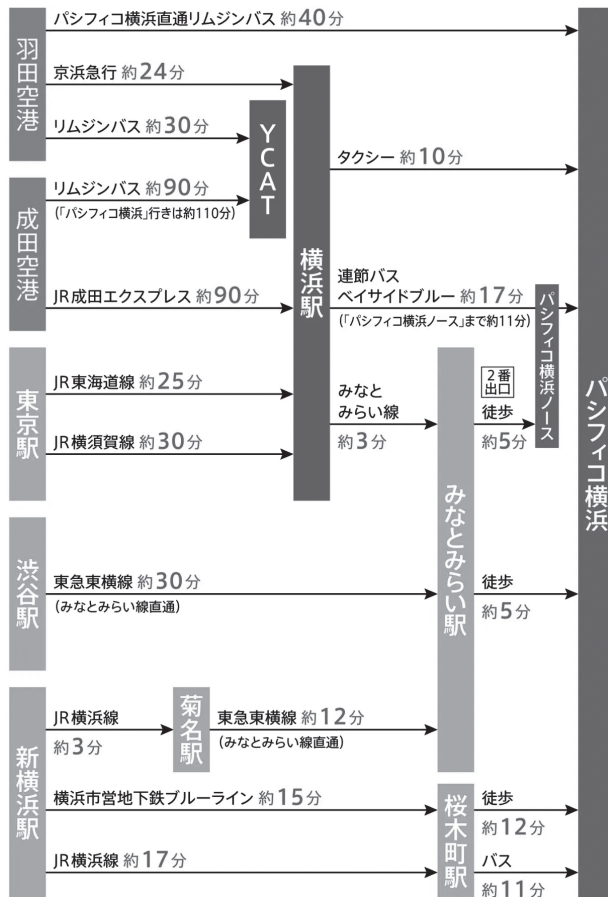
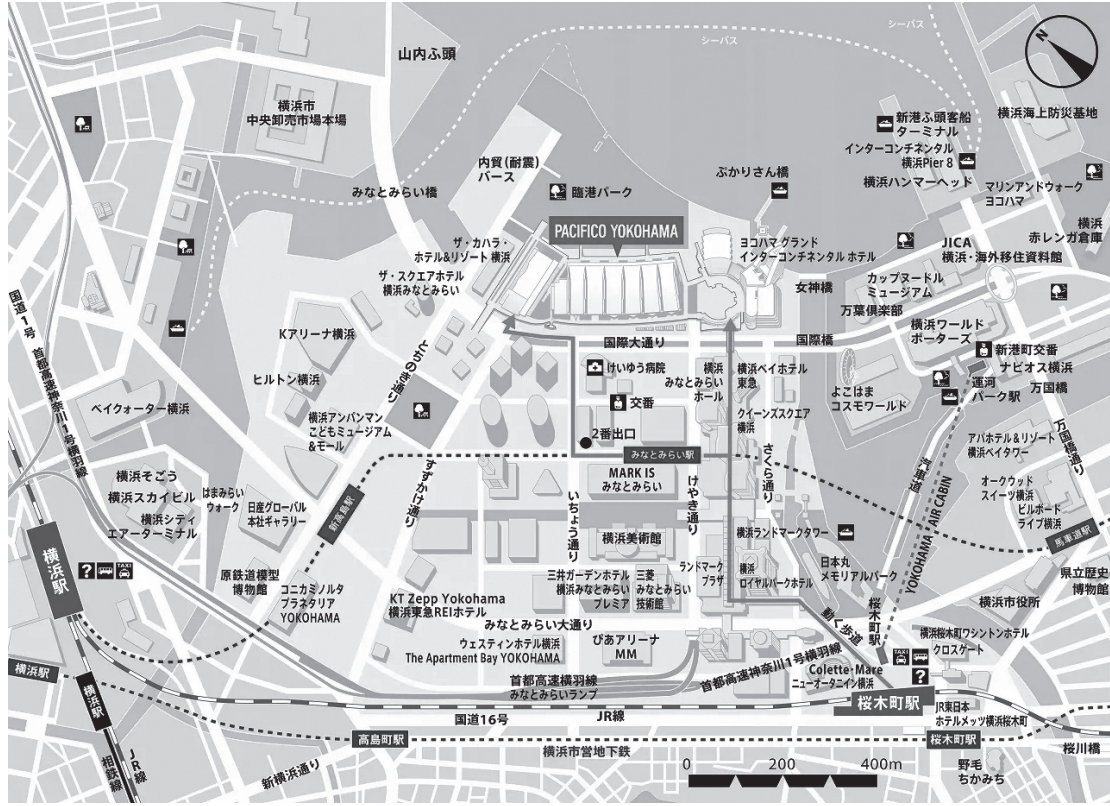
日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会

| 回 | 年 | 開催地 | 会長 | 回 | 年 | 開催地 | 会長 |
|----|-------|-----|--------|-----|------|------|--------------|
| 1 | 大正12年 | 東京 | 北里柴三郎 | 52 | 52 | 東京 | 五味二郎 |
| 2 | 13 | 大阪 | 佐多愛彦 | 53 | 53 | 大阪 | 山本和男 |
| 3 | 14 | 福岡 | 武谷廣 | 54 | 54 | 東京 | 島村喜久治 |
| 4 | 15 | 東京 | 入澤達吉 | 55 | 55 | 大阪 | 山村雄一 |
| 5 | 昭和2年 | 京都 | 藤浪鑑 | 56 | 56 | 仙台 | 今野淳 |
| 6 | 3 | 東京 | 田澤鐮二 | 57 | 57 | 東京 | 島尾忠男 |
| 7 | 4 | 札幌 | 有馬英二 | 58 | 58 | 京都 | 前川暢夫 |
| 8 | 5 | 大阪 | 今村荒男 | 59 | 59 | 東京 | 青柳昭雄 |
| 9 | 6 | 東京 | 宮川米次 | 60 | 60 | 名古屋 | 山本正彦 |
| 10 | 7 | 名古屋 | 岡田清三郎 | 61 | 61 | 福岡 | 篠田厚 |
| 11 | 8 | 京都 | 三戸時雄 | 62 | 62 | 東京 | 木野智慧光 |
| 12 | 9 | 東京 | 佐藤秀三 | 63 | 63 | 札幌 | 山本健一 |
| 13 | 10 | 大阪 | 楠本長三郎 | 64 | 平成元年 | 大阪 | 螺良英郎 |
| 14 | 11 | 仙台 | 熊谷岱蔵 | 65 | 2 | 東京 | 芳賀敏彦 |
| 15 | 12 | 東京 | 西野忠次郎 | 66 | 3 | 京都 | 久世文幸 |
| 16 | 13 | 京都 | 辻寛治 | 67 | 4 | 広島 | 斎藤肇 |
| 17 | 14 | 金沢 | 大里俊吾 | 68 | 5 | 東京 | 青木正和 |
| 18 | 15 | 東京 | 坂口康蔵 | 69 | 6 | 長崎 | 原耕平 |
| 19 | 16 | 福岡 | 戸田忠雄 | 70 | 7 | 名古屋 | 青木國雄 |
| 20 | 17 | 東京 | 遠藤繁清 | 71 | 8 | 東京 | 片山透 |
| 21 | 18 | 京都 | 浅山忠愛 | 72 | 9 | 札幌 | 東市郎 |
| 22 | 22 | 大阪 | 春木秀次郎 | 73 | 10 | 新潟 | 近藤有好 |
| 23 | 23 | 東京 | 勝俣稔 | 74 | 11 | 宇都宮 | 北村論 |
| 24 | 24 | 京都 | 服部峻次郎 | 75 | 12 | 大阪 | 露口泉夫 |
| 25 | 25 | 金沢 | 日置陸奥夫 | 76 | 13 | 沖繩 | 斎藤厚 |
| 26 | 26 | 東京 | 高野六郎 | 77 | 14 | 東京 | 森亨 |
| 27 | 27 | 大阪 | 渡辺三郎 | 78 | 15 | 倉敷 | 松島敏春 |
| 28 | 28 | 東京 | 岡治道 | 79 | 16 | 名古屋 | 下方薫 |
| 29 | 29 | 名古屋 | 勝沼精蔵 | 80 | 17 | さいたま | 川城丈夫 |
| 30 | 30 | 京都 | 日下部周利 | 81 | 18 | 仙台 | 渡辺彰 |
| 31 | 31 | 仙台 | 海老名敏明 | 82 | 19 | 大阪 | 坂谷光則 |
| 32 | 32 | 東京 | 隈部英雄 | 83 | 20 | 東京 | 石川信克 |
| 33 | 33 | 大阪 | 堂野前維摩郷 | 84 | 21 | 札幌 | 岸不盡彌 |
| 34 | 34 | 東京 | 石田二郎 | 85 | 22 | 京都 | 倉澤卓也 |
| 35 | 35 | 福岡 | 貝田勝美 | 86 | 23 | 東京 | 中島由槻 |
| 36 | 36 | 名古屋 | 日比野進 | 87 | 24 | 広島 | 重藤えり子 |
| 37 | 37 | 京都 | 青柳安誠 | 88 | 25 | 千葉 | 山岸文雄 |
| 38 | 38 | 大阪 | 堀三津夫 | 89 | 26 | 岐阜 | 森下宗彦 |
| 39 | 39 | 東京 | 柳沢謙 | 90 | 27 | 長崎 | 河野茂 |
| 40 | 40 | 仙台 | 中村隆 | 91 | 28 | 金沢 | 石崎武志 |
| 41 | 41 | 札幌 | 高橋義夫 | 92 | 29 | 東京 | 斎藤武文 |
| 42 | 42 | 名古屋 | 岡田博 | 93 | 30 | 大阪 | 鈴木克洋 |
| 43 | 43 | 東京 | 岩崎龍郎 | 94 | 令和元年 | 大分 | 門田淳一 |
| 44 | 44 | 京都 | 内藤益一 | 95 | 2 | 神奈川 | 藤田明 |
| 45 | 45 | 仙台 | 岡捨己 | 96 | 3 | 愛知 | 小川賢二 |
| 46 | 46 | 東京 | 北本治 | 97 | 4 | 北海道 | 大崎能伸 |
| 47 | 47 | 広島 | 占部薫 | 98 | 5 | 東京 | 加藤誠也 |
| 48 | 48 | 福岡 | 武谷健二 | 99 | 6 | 長崎 | 迎寛 |
| 49 | 49 | 東京 | 砂原茂一 | 100 | 7 | 神奈川 | 長谷川直樹 |
| 50 | 50 | 京都 | 安平公夫 | 101 | 8 | 岡山 | 磯部威 |
| 51 | 51 | 札幌 | 立野誠吾 | 102 | 9 | 東京 | 佐々木結花 |

※第94回までは日本結核病学会として開催

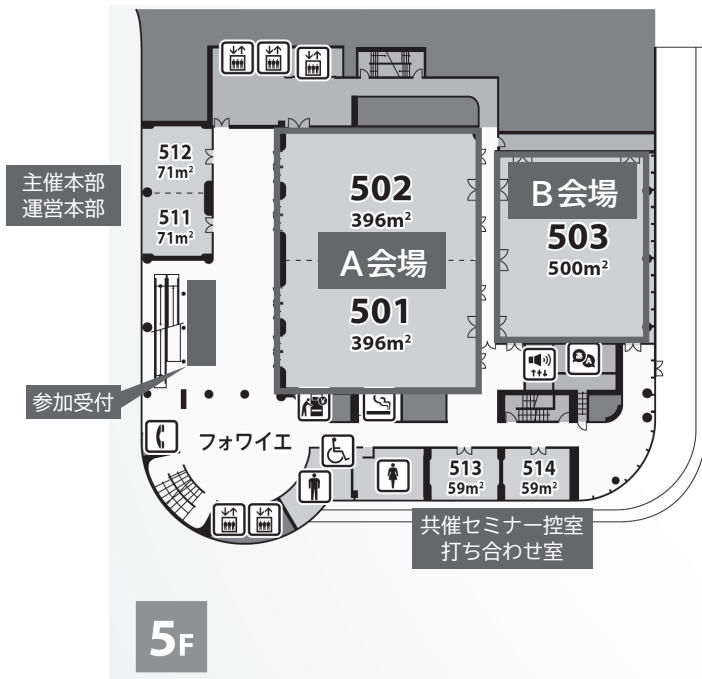
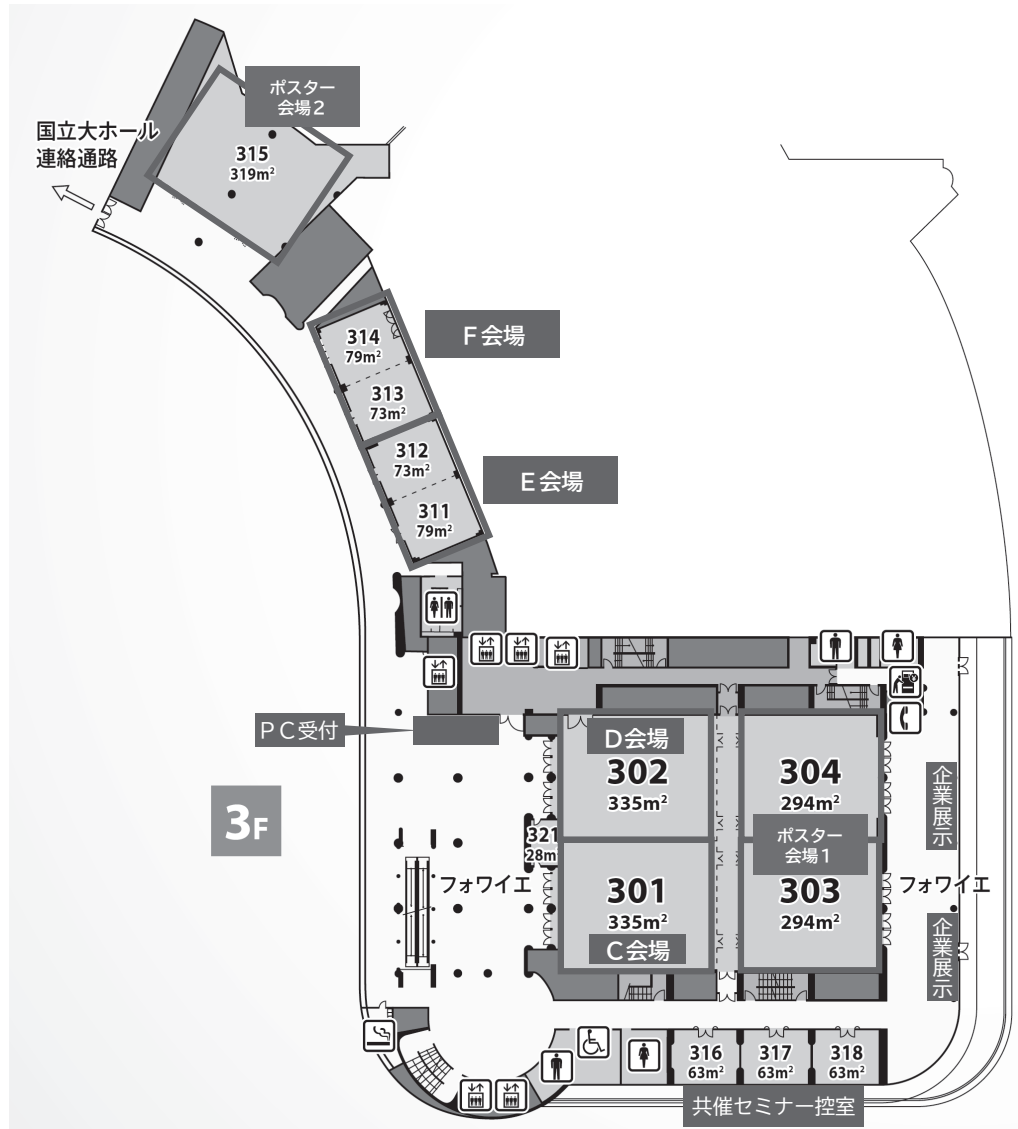
交通案内

パシフィコ横浜 会議センター 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1



会場案内

| パシフィコ横浜 会議センター | | |
|----------------|-----|---------|
| 会場 | フロア | 部屋名 |
| A 会場 | 5F | 501+502 |
| B 会場 | 5F | 503 |
| C 会場 | 3F | 301 |
| D 会場 | 3F | 302 |
| E 会場 | 3F | 311+312 |
| F 会場 | 3F | 313+314 |
| 企業展示・書籍展示 | 3F | フォワイエ |
| 参加受付 | 5F | フォワイエ |
| PC 受付 | 3F | フォワイエ |
| クローク | 4F | 413 |



役員会日程

2025年6月5日(木)

パシフィコ横浜 会議センター

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

| | |
|-------|------------|
| | 4F |
| | 414+415 |
| 13:30 | |
| | 理事会 |
| 15:50 | |
| | 3F |
| | 301 |
| 16:00 | |
| | 社員総会(代議員会) |
| 17:40 | |
| | 3F |
| | 316 |
| 16:30 | |
| | 新理事会 |
| 16:50 | |

※委員会

会場での開催はございません。

第 100 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会日程表

第 1 日目 2025 年 6 月 6 日 (金)

| 会場名 | パシフィコ横浜 会議センター | | | |
|-------|---|--|--|---|
| | A 会場 5F 501 + 502 | B 会場 5F 503 | C 会場 3F 301 | D 会場 3F 302 |
| 8:30 | | | | |
| 9:00 | 8:50 開会の辞 | | | |
| 9:30 | シンポジウム 1 日本発 MegaStudy が明かす 抗酸菌症の最新エビデンス 座長：露口 一成 泉川 公一 | シンポジウム 2 (生涯教育セミナー) 抗酸菌症の非薬物治療の最前線 座長：矢寺 和博 石井 幸雄 | 共同企画 1 (日本環境感染学会) 抗酸菌の感染制御 座長：三鴨 廣繁 高野八百子 | 9:00 教育講演 1 抗酸菌のワクチン 演者：松尾 和浩 座長：君塚 善文 |
| 10:00 | | | | 9:40 教育講演 2 生物学的製剤と JAK 阻害剤投与中に 結核が発症したらどうするのか？ 演者：松本 智成 座長：田中 良明 |
| 10:30 | | | | 10:20 教育講演 3 NTM の病原性 演者：立石 善隆 座長：岩本 朋忠 |
| 11:00 | | | | |
| 11:30 | | | | |
| 12:00 | | | | |
| 12:30 | 12:20 ランチョンセミナー 1 気管支拡張症の疫学と病態 演者：木田 博・朝倉 崇徳 座長：森本 耕三 共催：インスメッド合同会社メディカルアフェアーズ部 | 12:20 ランチョンセミナー 2 高齢者の肺炎予防の重要性～肺炎球菌ワクチン と RSV ワクチン接種の意義について考える～ 演者：進藤有一郎・時松 一成 座長：迎 寛 共催：ファイザー株式会社 | 12:20 ランチョンセミナー 3 非結核性抗酸菌症の検査診断の 現状と新たななるモダリティへの期待 演者：上養 義典 座長：御手洗 聡 共催：株式会社医学生物学研究所 | 12:20 ランチョンセミナー 4 NTM のゲノムダイナミクスー進化・ 適応・薬剤耐性のメカニズム 演者：南宮 湖 座長：今野 哲 共催：東ソー株式会社 |
| 13:00 | | | | |
| 13:30 | 13:30 100 周年記念式典 司会：長谷川直樹 ポスト低まん延化の日本の結核対策 ー「患者中心の対策」を求めてー 演者：森 亨 座長：磯部 威 | | | |
| 14:00 | | | | |
| 14:30 | | | | |
| 15:00 | 15:00 招請講演 1 NTM Disease Up to Date 演者：Kevin Winthrop 座長：森本 耕三 | 15:20 スポンサーセッション 1 目で見る CPA ーインタラクティブセッションー 演者：掛屋 弘 宮崎 泰可 座長：三鴨 廣繁 コメンテーター：佐々木結花 長尾 美紀 高園 貴弘 共催：旭化成ファーマ株式会社 | 15:20 シンポジウム 3 抗酸菌治療薬の創薬の現在 座長：土井 洋平 松浦 善治 | 15:20 教育講演 4 抗酸菌症とマイクロバイオーム 演者：八木 一馬 座長：山本 善裕 |
| 15:30 | | | | |
| 16:00 | 16:00 特別講演 1 結核・非結核性抗酸菌症の 宿主ゲノム要因の探索 演者：徳永 勝士 座長：加藤 誠也 | | | 16:00 教育講演 5 抗酸菌感染症における細菌感染の合併 ～緑膿菌に着目して～ 演者：進藤有一郎 座長：三木 誠 |
| 16:30 | | | | |
| 17:00 | 17:00 | 17:00 | 17:00 | 17:00 教育講演 6 クロファジミンという薬剤 演者：渡辺 史也 座長：松元 一明 |
| 17:30 | シンポジウム 4 抗酸菌症と気管支拡張症 座長：森本 耕三 山本 和子 | シンポジウム 5 抗酸菌症の外科治療と嚥血治療 座長：白石 裕治 杉浦 久敏 | シンポジウム 6 バイオエアロゾルと感染症 座長：丸山 史人 田中 大祐 | 17:40 教育講演 7 抗酸菌属の不均一性に基づく 薬剤耐性のメカニズム 演者：吉田志緒美 座長：御手洗 聡 |
| 18:00 | | | | |
| 18:30 | | | | |

| パシフィコ横浜 会議センター | | | | |
|----------------|---|---|--|------------------|
| 会場名 | E 会場 3F 311 + 312 | F 会場 3F 313 + 314 | ポスター会場 1 3F 303 + 304 | 企業展示 3F フォワイエ |
| 8:30 | | | | |
| 9:00 | 9:00 エキスパート委員会企画セミナー 1 多剤耐性結核 その定義と現況、 治療の変遷について 演者：奥村 昌夫 | 9:00 優秀演題発表 (若手) 座長：伊藤 明広 山本 善裕 | | 9:00 |
| 9:30 | 9:30 エキスパート委員会企画セミナー 2 抗酸菌症合併症/後遺症としての肺アスペルギルス症 演者：鈴木 純子 | | | |
| 10:00 | 10:00 エキスパート委員会企画セミナー 3 肺外 NTM 症と医療関連感染 演者：伊藤 穰 | 10:00 優秀演題発表 (一般) 座長：松本 壮吉 田坂 定智 | | |
| 10:30 | | | | |
| 11:00 | | | 11:10 | |
| 11:30 | | | ポスター発表 | |
| 12:00 | | | | |
| 12:30 | 12:20 ランチョンセミナー 5 抗菌薬の未来を切り開く～アップデート されたガイドラインが示す呼吸器感染症に おけるキノロン系薬の新たな役割～ 演者：三木 誠 座長：柳原 克紀 共催：杏林製薬株式会社 | 12:20 ランチョンセミナー 6 実臨床の中で再認識される、 結核診断・治療の重要性 演者：吉山 崇 座長：齋藤 武文 共催：ヤンセンファーマ株式会社 | 結核・NTM の病態解析① P1-1～P1-10 座長：岩永 直樹・朝倉 崇徳 結核・NTM の病態解析② P2-1～P2-10 座長：進藤有一郎・早稲田優子 結核・NTM の細菌学 P3-1～P3-9 座長：八木 一馬・金森 肇 結核の臨床研究 P4-1～P4-12 座長：鈴木 純子・上山 雅子 結核の症例報告 P5-1～P5-12 座長：川崎 剛・小林 哲 非結核性抗酸菌症の臨床研究 (診断) P6-1～P6-12 座長：山崎 啓・井上 純人 非結核性抗酸菌症の臨床研究 (臨床像) P7-1～P7-11 座長：中島 啓・串間 尚子 非結核性抗酸菌症の臨床研究 (治療①) P8-1～P8-10 座長：濱口 愛・原永 修作 非結核性抗酸菌症の臨床研究 (治療②) P9-1～P9-10 座長：小川 良子・倉原 優 非結核性抗酸菌症の臨床研究 (アブセッサス症) P10-1～P10-11 座長：萩原 恵里・伊藤 穰 非結核性抗酸菌症の症例報告① P11-1～P11-11 座長：長井 桂・船山 康則 非結核性抗酸菌症の症例報告② P12-1～P12-12 座長：浅見 貴弘・國近 尚美 結核・非結核性抗酸菌症と他病 原体との合併 P13-1～P13-6 座長：林 悠太・安部 光洋 | 企業展示 |
| 13:00 | | | | |
| 13:30 | | | | |
| 14:00 | | | | |
| 14:30 | | | | |
| 15:00 | | | | |
| 15:30 | 15:20 エキスパート委員会企画セミナー 4 肺外結核の診断 頻度の多いもの、知っておくべきこと 演者：武田 啓太 | 15:20 スポンサーセッション 2 結核と IGRA—外国出生者も含めて— 演者：福島喜代康 座長：迎 寛 共催：株式会社キアゲン | | |
| 16:00 | 15:50 エキスパート委員会企画セミナー 5 結核初回治療の基本—治療の原理と知って おくべきこと、海外の事情— 演者：千酌 浩樹 | | | |
| 16:30 | 16:20 エキスパート委員会企画セミナー 6 肺 NTM 症治療の基本 (MAC, M. kansasii, M. abscessus) 演者：中川 拓 | 16:30 国際シンポジウム 抗 IFN γ 中和自己抗体による 播種性 NTM 症の国際ガイドライン 策定に向けて 演者：坂上 拓郎・Aristine Cheng Ploenchan Chetchotisakd 浅野 孝基・Steven Holland Cheng-Lung Ku 座長：南宮 湖・坂上 拓郎 | | |
| 17:00 | 17:00 エキスパート委員会企画セミナー 7 抗酸菌治療薬の副作用とその対策—結核治療および 非結核性抗酸菌症で用いる主な薬剤について— 演者：佐々木結花 | | | |
| 17:30 | 17:30 エキスパート委員会企画セミナー 8 潜在性結核感染症への対応、誰にどのような 治療を行うか 外国人結核対策も含めて 演者：高崎 仁 | | | |
| 18:00 | 18:00 エキスパート委員会企画セミナー 9 結核における行政の役割～横浜市内における 患者支援について～ 演者：竹澤 智湖 | | | |
| 18:30 | | | | |

第 100 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会日程表

第 2 日目 2025 年 6 月 7 日 (土)

| 会場名 | パシフィコ横浜 会議センター | | | |
|-------|--|--|---|---|
| | A 会場 5F 501 + 502 | B 会場 5F 503 | C 会場 3F 301 | D 会場 3F 302 |
| 8:30 | 8:20 | 8:20 | 8:20 | 8:20 教育講演 8 人獣共通感染症としての結核 演者：鈴木 定彦 座長：中島 千絵 |
| 9:00 | シンポジウム 7 (生涯教育セミナー) 今後の退院基準を考える 座長：松井 弘稔 猪狩 英俊 | シンポジウム 8 (生涯教育セミナー) NTM の環境と宿主 座長：岩本 朋忠 阿戸 学 | シンポジウム 9 外国生まれ結核患者への対応 座長：澤田 貴志 渡部 ゆう | 9:05 教育講演 9 抗酸菌基礎研究の year in review 演者：港 雄介 座長：瀬戸真太郎 |
| 9:30 | | | | 9:50 教育講演 10 肺 <i>Mycobacterium abscessus</i> 症について 演者：藤原 啓司 座長：関 雅文 |
| 10:00 | | | | |
| 10:30 | 10:30 活動報告(秋野公造先生) | | | |
| 11:00 | 10:50 特別講演 2 抗酸菌に対抗する 宿主免疫応答機構 演者：山崎 晶 座長：慶長 直人 | 10:50 スポンサーセッション 3 薬剤耐性遺伝子検査～結核治療の 改善と患者負担の軽減～ 演者：吉山 崇 座長：佐々木結花 共催：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 | 10:50 スポンサーセッション 4 肺非結核性抗酸菌症診断基準の 改訂と今後の課題 演者：木田 博 座長：松本 壮吉 共催：極東製薬工業株式会社 | 10:50 教育講演 11 結核とスティグマ 演者：竹下 啓 座長：露口 一成 |
| 11:30 | | | | |
| 12:00 | 11:55 会長講演 演者：長谷川直樹 座長：川城 丈夫 | 横浜市での抗酸菌感染症との出会いと 次世代へのメッセージ | | |
| 12:30 | 12:20 ランチョンセミナー 7 肺 NTM 症診療の均てん化を目指して 演者：尾下 豪人・武田 和明 座長：露口 一成 共催：インスメッド合同会社 | 12:20 ランチョンセミナー 8 気道感染症における AMR への対応 演者：賀来 敬仁 座長：南宮 湖 共催：塩野義製薬株式会社 | 12:20 ランチョンセミナー 9 重症喘息の新たな治療戦略～抗 TSLP 抗体の臨床経験をふまえて～ 演者：松山 政史 座長：檜澤 伸之 共催：アストラゼネカ株式会社 | 12:20 ランチョンセミナー 10 慢性炎症性気道疾患一喘息/COPD と気管支拡張症の合併病態一 演者：松本 久子 座長：杉浦 久敏 共催：日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社医薬開発本部 |
| 13:00 | | | | |
| 13:30 | 13:20 招請講演 3 米国における結核対策および 疫学・臨床研究の展望ー2025ー 演者：成田 昌弘 座長：齋藤 武文 | 13:20 | 13:20 | 13:20 教育講演 12 悪性疾患と抗酸菌症について 演者：小林 岳彦 座長：須田 隆文 |
| 14:00 | | シンポジウム 10 (生涯教育セミナー) 抗酸菌症の理解を深めるために 基礎医学の視点から迫る 座長：松本 壮吉 阿戸 学 | シンポジウム 11 SDGs, End TB Strategy 2030 目標に 向けて ーアジアの結核高まん延国に おける成果・課題を検討し、 今後われわれは何をすべきかを ベンチマークの 2025 年に考える 座長：中村 安秀 岡田 耕輔 | 13:55 教育講演 13 肺外 NTM 症 演者：鎌田 啓佑 座長：伊藤 穰 |
| 14:30 | 14:30 招請講演 4 Progress and prospects in research on NTM pulmonary disease 演者：Jae-Joon Yim 座長：菊地 利明 | | | 14:30 スポンサーセッション 5 T-スポット® TB 検査に おける自動化技術と運用 演者：大野 聡 座長：永井 英明 共催：株式会社レビティジャパン |
| 15:00 | 15:20 閉会の辞 | | | |
| 15:30 | | | | |
| 16:00 | 16:00 市民公開講座 肺非結核性抗酸菌症(肺 NTM 症)と 気管支拡張症 司会：紺野美沙子 演者：南宮 湖 伊藤 明広 肺 NTM 症患者 遠山 和子 座長：長谷川直樹 共催：インスメッド合同会社メディカルアフェアーズ部 | 16:00 ICD 講習会 基礎から学ぶ結核の院内感染対策 演者：串間 尚子 進藤 一郎 西村 知泰 座長：猪狩 英俊 掛屋 弘 | | |
| 16:30 | | | | |
| 17:00 | | | | |
| 17:30 | | | | |
| 18:00 | | | | |
| 18:30 | | | | |

| パシフィコ横浜 会議センター | | | | |
|----------------|--|---|--|--|
| 会場名 | E 会場 3F 311 + 312 | F 会場 3F 313 + 314 | ポスター会場 2 3F 315 | 企業展示 3F フォワイエ |
| 8:30 | 8:20 エキスパート委員会企画セミナー10 抗酸菌症の疫学(世界と日本)結核と非結核性抗酸菌症について 演者:内村 和広 | | | 8:30 企業展示 |
| 9:00 | 8:50 エキスパート委員会企画セミナー11 宿主免疫応答を利用した抗酸菌感染症の検査法 演者:西村 知泰 | 9:00 医学生・研修医セミナー オーガナイザー:浅見 貴弘 八木 一馬 講師:倉原 優 中島 啓 田中希宇人 皿谷 健 | | |
| 9:30 | 9:20 エキスパート委員会企画セミナー12 抗酸菌感染症診断治療のための検査をどう進めるか(TBとNTMの違い) 演者:山本 剛 | | | |
| 10:00 | 10:00 共同企画2 (日本臨床微生物学会) 抗酸菌の微生物検査 座長:村田 正太 八木 哲也 | | | |
| 10:30 | | | | |
| 11:00 | | 10:50 招請講演2 Becoming a Physician-Scientist Who Truly Serves Patients 演者:Steven Holland 座長:南宮 湖 | 10:50 ポスター発表 | |
| 11:30 | | | | |
| 12:00 | | | 結核・非結核性抗酸菌症の疫学 P14-1~P14-9 座長:潤間 励子・内村 和広 結核の集団感染・接触者健診対策・保健所の活動/病診連携 P15-1~P15-10 座長:西村 知泰・座間 智子 外国人結核 P16-1~P16-13 座長:南宮 湖・高崎 仁 LTBIの診断と治療 P17-1~P17-9 座長:長谷衣佐乃・網島 優 抗酸菌分子疫学 P18-1~P18-7 座長:高木 明子・吉田 光範 新しい抗酸菌検査 P19-1~P19-5 座長:山本 剛・井手昇太郎 抗酸菌症の外科療法 P20-1~P20-7 座長:山田 勝雄・杉浦八十生 結核・非結核性抗酸菌症の国際協力・国際研究 P21-1~P21-13 座長:和田 崇之・太田 正樹 | |
| 12:30 | 12:20 ランチョンセミナー11 CPA 診断と治療 演者:佐々木結花・高園 貴弘 座長:迎 寛 共催:旭化成ファーマ株式会社メディカル・アフェアーズ部/バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社 | 12:20 ランチョンセミナー12 NPPVを用いた呼吸管理について 演者:角 謙介 座長:齋藤 武文 共催:帝人ヘルスケア株式会社 | | |
| 13:00 | | | | |
| 13:30 | 13:20 共同企画3(日本化学療法学会) 抗酸菌症の化学療法新展開 座長:川名 明彦 松元 一明 | 13:20 医学生・研修医セミナー オーガナイザー:浅見 貴弘 八木 一馬 講師:長尾 大志 番場 祐基 | | |
| 14:00 | | | | |
| 14:30 | | | | |
| 15:00 | | | | |
| 15:30 | | | | |
| 16:00 | | | | |
| 16:30 | | | | |
| 17:00 | | | | |
| 17:30 | | | | |
| 18:00 | | | | |
| 18:30 | | | | |

第100回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会目次

<会 長 講 演>

横浜市での抗酸菌感染症との出会いと次世代へのメッセージ (69)
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 長谷川直樹

6月7日(土) 11:55~12:15 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)
 座長 (済生会横浜市東部病院) 川 城 丈 夫

<100周年記念式典>

司会 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 長谷川 直 樹

ポスト低まん延化の日本の結核対策—「患者中心の対策」を求めて— (73)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 森 亨

6月6日(金) 13:30~14:40 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)
 座長 (島根大学医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学) 磯 部 威

<特 別 講 演>

1. 結核・非結核性抗酸菌症の宿主ゲノム要因の探索 (77)
 (国立国際医療研究センター研究所ゲノム医科学プロジェクト) 徳永 勝士

6月6日(金) 16:00~16:50 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)
 座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 加 藤 誠 也

2. 抗酸菌に対抗する宿主免疫応答機構 (78)
 (大阪大学微生物病研究所分子免疫制御分野/大阪大学免疫学フロンティア研究センター分子免疫学) 山崎 晶

6月7日(土) 10:50~11:50 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)
 座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶 長 直 人

<招 請 講 演>

1. NTM Disease Up to Date (Oregon Health and Science University) Kevin Winthrop

6月6日(金) 15:00~15:50 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)
 座長 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 森 本 耕 三

2. **Becoming a Physician-Scientist Who Truly Serves Patients** (NIH/NIAID) **Steven Holland**

6月7日(土) 10:50~11:50 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)

座長 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南 宮 湖

3. **米国における結核対策および疫学・臨床研究の展望—2025—** (81)

(Department of Medicine, University of Washington, USA) **成田 昌弘**

6月7日(土) 13:20~14:20 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)

座長 (国立病院機構茨城東病院) 齋 藤 武 文

4. **Progress and prospects in research on NTM pulmonary disease**

(Seoul National University College of Medicine) **Jae-Joon Yim**

6月7日(土) 14:30~15:20 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)

座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野) 菊 地 利 明

<教 育 講 演>

1. **抗酸菌のワクチン**.....(北海道大学創成研究機構ワクチン研究開発拠点) **松尾 和浩** (85)

6月6日(金) 9:00~9:30 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)

座長 (防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器)) 君 塚 善 文

2. **生物学的製剤と JAK 阻害剤投与中に結核が発症したらどうするのか?** (85)

(大阪府結核予防会大阪複十字病院) **松本 智成**

6月6日(金) 9:40~10:10 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)

座長 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター内科) 田 中 良 明

3. **NTM の病原性**(新潟大学医学部細菌学) **立石 善隆** (86)

6月6日(金) 10:20~10:50 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)

座長 (神戸健康科学研究所) 岩 本 朋 忠

4. **抗酸菌症とマイクロバイーム**.....(東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科) **八木 一馬** (86)

6月6日(金) 15:20~15:50 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)

座長 (富山大学学術研究部医学系感染症学講座) 山 本 善 裕

5. 抗酸菌感染症における細菌感染の合併～緑膿菌に着目して～ (87)
 (名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科) 進藤有一郎

6月6日(金) 16:00~16:30 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
 座長 (日本赤十字社仙台赤十字病院呼吸器内科) 三木 誠

6. クロファジミンという薬剤 (87)
 (明治薬科大学薬物動態学研究室/公益財団法人結核予防会複十字病院薬剤部) ○渡辺 史也
 (明治薬科大学薬物動態学研究室) 花田 和彦
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 藤原 啓司、古内 浩司、伊藤 優志
 森本 耕三

6月6日(金) 17:00~17:30 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
 座長 (慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座) 松元 一 明

7. 抗酸菌属の不均一性に基づく薬剤耐性のメカニズム (88)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 吉田志緒美

6月6日(金) 17:40~18:10 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
 座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡

8. 人獣共通感染症としての結核 (88)
 (北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所バイオリソース部門) 鈴木 定彦

6月7日(土) 8:20~8:50 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
 座長 (北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所バイオリソース部門) 中島 千 絵

9. 抗酸菌基礎研究の year in review (89)
 (藤田医科大学研究推進本部感染症研究センター感染症創薬研究分野) 港 雄介

6月7日(土) 9:05~9:35 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
 座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体制御部) 瀬戸 真太郎

10. 肺 *Mycobacterium abscessus* 症について (89)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター/公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 藤原 啓司

6月7日(土) 9:50~10:20 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
 座長 (埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科) 関 雅 文

11. 結核とスティグマ (東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学領域) 竹下 啓 (90)

6月7日(土) 10:50~11:20 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
 座長 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 露 口 一 成

12. 悪性疾患と抗酸菌症について……(国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 小林 岳彦 (90)

6月7日(土) 13:20~13:50 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)

座長(浜松医科大学呼吸器内科) 須田 隆文

13. 肺外 NTM 症 …………… (91)

(北海道大学病院呼吸器内科/公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 鎌田 啓佑

6月7日(土) 13:55~14:25 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)

座長(名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 伊藤 穰

<シンポジウム>

シンポジウム 1

日本発 MegaStudy が明かす抗酸菌症の最新エビデンス

6月6日(金) 9:00~11:00 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)

座長(国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 露口 一成

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻臨床感染症学分野) 泉川 公一

- S1-1 日本における肺非結核性抗酸菌症の全国調査から明らかになった最新の NTM 症の疫学 …………… (95)
(慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖
- S1-2 ヒトゲノムと結核菌ゲノムの統合的解析による結核発症遺伝要因の探索 …………… (95)
(国立国際医療研究センターゲノム医科学プロジェクト/
ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク中央バイオバンク)
○大前 陽輔、徳永 勝士
(富山国際大学現代社会学部) 豊岡 理人
(結核予防会複十字病院) 野内 英樹
(国立国際医療研究センターゲノム医科学プロジェクト) 宮原 麗子
(ロンドン大学衛生熱帯医学大学院) Jody Phelan、Paula Josefina Gomez-Gonzalez、Nuria Andreu
Martin L. Hibberd、Taane G. Clark
(タイ国保健省チェンライ病院) Supalert Nedsuwan
(タイ国マヒドン大学理学部) Nat Smittipat、Prasit Palittapongarnpim
(理化学研究所生命医科学研究センター) 薊田 泰誠、久保 充明
(タイ国保健省医科学局) Surakameth Mahasirimongkol
- S1-3 iREC 試験(結節・気管支拡張型肺 MAC 症に対する間欠的治療と連日治療の多施設共同非盲検ランダム化比較試験) ……………(国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 中川 拓 (96)
- S1-4 マクロライド耐性 MAC 症にマクロライドは継続するべきか …………… (96)
(大阪大学呼吸器・免疫内科学講座/大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 福島 清春
- Special Comment (Seoul National University College of Medicine) Jae-Joon Yim

シンポジウム2 (生涯教育セミナー)

抗酸菌症の非薬物治療の最前線

6月6日(金) 9:00~11:00 B会場 (パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)

座長 (産業医科大学医学部呼吸器内科学) 矢寺 和博
 (国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センター内科診療部呼吸器内科) 石井 幸雄

- S2-1 抗酸菌症のリハビリテーション (97)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院リハビリテーション科) 髯谷 満
- S2-2 抗酸菌症と栄養 (97)
 (昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター/昭和大学藤が丘病院呼吸器センター) 林 誠
- S2-3 肺非結核性抗酸菌症患者の健康関連 QOL (Quality of Life) (98)
 (北里大学薬学部臨床医学 (生体制御学研究室)) 朝倉 崇徳
- S2-4 非がん性呼吸器疾患の支持・緩和医療 (98)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター心療内科/支持・緩和療法チーム) 所 昭宏
- S2-5 肺抗酸菌症患者さんの予後を考える (99)
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 佐々木結花

シンポジウム3

抗酸菌治療薬の創薬の現在

6月6日(金) 15:20~16:50 C会場 (パシフィコ横浜 会議センター 3F 301)

座長 (藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科) 土井 洋平
 (大阪大学微生物病研究所) 松浦 善治

- S3-1 難治性肺 NTM 症に対する普遍的効果を示す次世代型抗菌薬創出を目指した研究 (99)
 (藤田医科大学研究推進本部感染症研究センター感染症創薬研究分野) 港 雄介
- S3-2 抗結核薬開発の最前線 (大塚製薬株式会社医薬品事業部抗結核プロジェクト) 林 陽平 (100)
- S3-3 生物活性天然物を基盤とした抗薬剤耐性菌薬開発プラットフォームの構築 (100)
 (北海道大学大学院薬学研究院創薬科学研究教育センター有機合成医薬学部門) 勝山 彬
- S3-4 非結核性抗酸菌の抗菌薬高度自然耐性における薬剤排出ポンプの役割 (101)
 (群馬大学大学院医学系研究科細菌学分野) 平川 秀忠

シンポジウム4

抗酸菌症と気管支拡張症

6月6日(金) 17:00~18:30 A会場 (パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)

座長 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 森本 耕三
 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科)) 山本 和子

- S4-1 気管支拡張症の基礎研究の最前線 (北里大学薬学部臨床医学 (生体制御学研究室)) 朝倉 崇徳 (101)
- S4-2 気管支拡張症と喘息: 治療・管理の方向性を中心に (102)
 (近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室) 松本 久子
- S4-3 COPD と気管支拡張症の合併 (102)
 (東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座呼吸器内科学分野) 山田 充啓
- S4-4 肺非結核性抗酸菌症と気管支拡張症 (103)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 伊藤 優志

シンポジウム 5

抗酸菌症の外科治療と喀血治療

6月6日(金) 17:00~18:30 B会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)

座長 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター呼吸器外科) 白石 裕 治
(東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座呼吸器内科学分野) 杉浦 久 敏

- S5-1 抗酸菌症の外科治療—非結核性抗酸菌症を中心に…………… (103)
(社会医療法人宏潤会大同病院呼吸器・心臓血管外科) ○山田 勝雄
(名古屋大学医学部呼吸器外科) 中村 彰太
- S5-2 2年間の胸骨縦切開による両側同時一期的切除の検討…………… (104)
(社会福祉法人聖隷事業団聖隷横浜病院) ○大内 基史、竹内 健
(北里大学北里研究所病院呼吸器内科) 朝倉 崇徳
(慶應義塾大学病院臨床感染センター) 長谷川直樹
- S5-3 非結核性抗酸菌症・気管支拡張症の肺移植……………(東北大学病院臓器移植医療部) 平間 崇 (104)
- S5-4 抗酸菌症とその後遺症に伴う喀血に対するカテーテル治療…………… (105)
(国立病院機構東京病院呼吸器センター) ○川島 正裕、武田 啓太、佐藤 賢吾
小佐井惟吹、伊藤 博士、益田 公彦

シンポジウム 6

バイオエアロゾルと感染症

6月6日(金) 17:00~18:30 C会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 301)

座長 (広島大学 IDEC 国際連携機構環境遺伝生態学) 丸山 史 人
(富山大学学術研究部理学系) 田中 大 祐

- S6-1 スーパーコンピュータを活用した室内環境での飛沫・エアロゾル感染リスクの評価と対策効果の検証
……………(神戸大学大学院システム情報学研究所/理化学研究所計算科学研究センター) 坪倉 誠 (105)
- S6-2 バイオエアロゾルを介した感染についての考え方とその歴史的視点…………… (106)
(国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター) 西村 秀一
- S6-3 バイオエアロゾルの制御…………… (106)
(国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所安全管理研究センター) 花木 賢一
- S6-4 バイオエアロゾルとフォーマイト……………(酪農学園大学獣医学群獣医保健看護学類) 能田 淳 (107)

シンポジウム 7 (生涯教育セミナー)

今後の退院基準を考える

6月7日(土) 8:20~10:20 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)

座長 (国立病院機構東京病院) 松井 弘 稔
(千葉大学医学部附属病院感染制御部) 猪狩 英 俊

- S7-1 新たな退院基準策定の背景…………… (107)
(国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 露口 一成
- S7-2 新たな退院基準の提案…………… (108)
(公益財団法人結核予防会複十字病院/公益財団法人結核予防会結核研究所) 吉山 崇
- S7-3 弁護士の立場から……………(東京南部法律事務所) 大森 夏織 (108)
行政の立場(仮) 東京都(予定)

シンポジウム 8 (生涯教育セミナー)

NTM の環境と宿主

6月7日(土) 8:20~10:20 B会場 (パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)

座長 (神戸健康科学研究所)

岩本 朋 忠

(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 阿 戸 学

- S8-1 土壌曝露に関連する最新情報…………… (109)
(名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 伊藤 穰
- S8-2 NTM の生態や環境微生物との相互作用 …………… (109)
(広島大学 IDEC 国際連携機構環境遺伝生態学) 西内由紀子
- S8-3 集団検出された *M. abscessus* subsp. *massiliense* の感染経路に関する検証…………… (110)
(大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) ○小宮 幸作、山末 まり
(大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座/結核予防会結核研究所) 山谷いずみ
(酪農学園大学) 能田 淳
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター) 吉田 光範
(結核予防会結核研究所) 御手洗 聡
- S8-4 宿主因子について基礎研究の立場から—全血細胞の網羅的遺伝子発現解析から見えてきたこと—… (110)
(筑波大学医学医療系呼吸器内科) 松山 政史
- S8-5 NTM の疫学と環境 ……(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学) 金城 武士 (111)

シンポジウム 9

外国生まれ結核患者への対応

6月7日(土) 8:20~10:20 C会場 (パシフィコ横浜 会議センター 3F 301)

座長 (港町診療所)

澤 田 貴 志

(東京都保健医療局感染症対策部防疫課) 渡 部 ゆ う

- S9-1 入国前結核スクリーニング事業の実際と展望…………… (111)
(公益財団法人結核予防会結核研究所入国前結核スクリーニング精度管理センター)
○大角 晃弘、鶴飼 友彦、李 祥任
Si Thu Kaun、内村 和広
- S9-2 在日外国人の日本滞在中の結核医療アクセスの現状と課題—重症例を中心に—…………… (112)
(国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 高崎 仁
- S9-3 外国生まれ結核患者における患者中心の支援の現状と課題…………… (112)
(大阪市保健所感染症対策課) ○井村 元気、大野利佐子、康 史朗
小向 潤、廣川 秀徹、金 鈴香
江川 裕子、浅野 瑞穂、高橋 峰子
- S9-4 結核治療中に帰国する外国生まれ結核患者の治療継続支援の現状と課題…………… (113)
(公益財団法人結核予防会結核研究所) 座間 智子
- S9-5 在住外国人の医療アクセス改善の方策：ベトナムコミュニティとの取り組みから…………… (113)
(公益財団法人結核予防会結核研究所臨床疫学部) 李 祥任

シンポジウム 10 (生涯教育セミナー)

抗酸菌症の理解を深めるために基礎医学の視点から迫る

6月7日(土) 13:20~15:20 B会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)

座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科細菌学分野) 松本 壮吉
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 阿戸 学

- S10-1 単細胞 RNA シークエンスで解き明かす結核肉芽腫の細胞構造 …………… (114)
(公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○瀬戸真太郎、土方美奈子、慶長 直人
- S10-2 肺非結核性抗酸菌症の新たなマウスモデルによるヒト様病態再現の試みと治療戦略の探求 …………… (114)
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) ○山本健太郎、辻村 祐佑、浅賀 正充
中屋 慎、阿戸 学
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部/国立感染症研究所安全管理研究センター)
鳥越 祥太
- S10-3 NGS を活用した抗酸菌分子疫学解析 …………… (115)
(神戸市健康科学研究所感染症部) ○有川健太郎
(神戸市健康科学研究所) 岩本 朋忠
- S10-4 肺非結核性抗酸菌症の感染防御：気道上皮の役割も含めて …………… (115)
(公益財団法人結核予防会複十字病院/公益財団法人結核予防会結核研究所) 古内 浩司
- S10-5 抗酸菌感染症ワクチンの現状と展望…(防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器)) 君塚 善文 (116)

シンポジウム 11

SDGs, End TB Strategy 2030 目標に向けて—アジアの結核高まん延国における成果・課題を検討し、今後われわれは何をすべきかをベンチマークの 2025 年に考える

6月7日(土) 13:20~15:20 C会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 301)

座長 (公益社団法人日本 WHO 協会) 中村 安秀
(公益財団法人結核予防会) 岡田 耕輔

- S11-1 タイ：研究成果の社会実装への協力はタイの結核対策にインパクトをもたらすか …………… (116)
(公益財団法人結核予防会国際部/公益財団法人結核予防会複十字病院) ○野内 英樹
(公益財団法人結核予防会国際部/
公益財団法人結核予防会複十字病院/公益財団法人結核予防会結核研究所)
吉山 崇
(公益財団法人結核予防会国際部/公益財団法人結核予防会結核研究所) 山田 紀男、小野崎郁史
- S11-2 カンボジア：第 3 回全国結核有病率調査結果—結核登録数・有病率の減少とその限界 …………… (117)
(公益財団法人結核予防会結核研究所) ○山田 紀男、Khay Mar Aung
(公益財団法人結核予防会結核研究所/公益財団法人結核予防会国際部) 小野崎郁史、岡田 耕輔
- S11-3 ネパールでの日本式結核検診の普及はインパクトをもたらすか？ NGO としての挑戦 …………… (117)
(公益財団法人結核予防会ネパール事務所/公益財団法人結核予防会結核研究所) ○下内 昭
(公益財団法人結核予防会国際部) 平野有希子、永田 由佳
(公益財団法人結核予防会結核研究所/公益財団法人結核予防会国際部) 小野崎郁史、岡田 耕輔
- S11-4 ミャンマー：2020 年ベンチマーク達成とダブルクライシスによる後退—国際社会は何ができるのか …………… (118)
(公益財団法人結核予防会国際部・結核研究所) ○小野崎郁史、岡田 耕輔
- S11-5 保健医療サービスの質改善に取り組むプロジェクトの中で—結核への対応— …………… (118)
(国立国際医療研究センター国際医療協力局) 市村 康典

＜国際シンポジウム＞

抗 IFN γ 中和自己抗体による播種性 NTM 症の国際ガイドライン策定に向けて
Toward the establishment of international guidelines for disseminated NTM disease caused
by anti-IFN- γ neutralizing autoantibodies

6月6日（金） 16:30～18:30 F会場（パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314）

座長（慶應義塾大学医学部感染症学教室） **南宮 湖**
 （熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座） **坂上 拓郎**

- IS-1 Overview of Adult-onset Immunodeficiency as a causal factor of disseminated NTM disease …… (121)
 （熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座）坂上 拓郎
- IS-2 Anti-Interleukin-23 Autoantibodies in Adult-Onset Immunodeficiency
 （National Taiwan University）Aristine Cheng
- IS-3 Adult-Onset Immunodeficiency in Thailand （Khon Kaen University）Ploenchon Chetchotisakd
- IS-4 Overview of Mendelian susceptibility to mycobacterial disease …… (121)
 （広島大学原爆放射線医科学研究所放射線ゲノム疾患/広島大学大学院医系科学研究科小児科学）
 浅野 孝基
- IS-5 Anti-IFN gamma Autoantibodies in Adult-Onset Immunodeficiency (NIH/NIAID) Steven Holland
- IS-6 Updates in Neutralizing IFN- γ autoantibodies （Chang Gung University）Cheng-Lung Ku

＜共同企画＞

共同企画 1（日本環境感染学会）

抗酸菌の感染制御

6月6日（金） 9:00～10:30 C会場（パシフィコ横浜 会議センター 3F 301）

座長（愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学） **三鴨 廣繁**
 （慶應義塾大学病院感染制御部） **高野 八百子**

- JP1-1 換気・空調における最近の動向 ……（聖マリアンナ医科大学感染症学講座）國島 広之 (125)
- JP1-2 結核の感染制御における空調管理 ……（順天堂大学大学院医学研究科感染制御科学）堀 賢 (125)
- JP1-3 結核患者の個室対応・接触者対応について …… (126)
 （群馬大学医学部附属病院感染制御部）○大嶋 圭子、徳江 豊
- JP1-4 医療環境の水と非結核性抗酸菌について …… (126)
 （東京科学大学病院感染症内科・感染制御部）関谷 紀貴

共同企画 2（日本臨床微生物学会）

抗酸菌の微生物検査

6月7日（土） 10:00～11:30 E会場（パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312）

座長（千葉大学病院検査部） **村田 正太**
 （名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染制御学） **八木 哲也**

- JP2-1 抗酸菌の微生物検査の心得とピットフォール …… (127)
 （公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部）青野 昭男

- JP2-2 受託抗酸菌検査の現状と限界…………… (127)
 (株式会社 LSI メディエンス臨床検査事業本部メディカルソリューション部感染症検査室)
 玉川 由香
- JP2-3 抗酸菌検査はどこまで院内で検査すべきか …(慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室) 上蓑 義典 (128)
- JP2-4 抗酸菌の分子疫学と微生物検査への応用: *Mycobacterium abscessus* species 症を例に …………… (128)
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 吉田 光範

共同企画 3 (日本化学療法学会)

抗酸菌症の化学療法新展開

6月7日(土) 13:20~14:50 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)

座長 (防衛医科大学校内科学講座(感染症・呼吸器)名誉教授) 川 名 明 彦

(慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座) 松 元 一 明

- JP3-1 Anti-mycobacterial stewardship における薬剤師の役割 …………… (129)
 (高知大学医学部附属病院薬剤部) 浜田 幸宏
- JP3-2 「新規抗酸菌治療薬の Overview」に関して …………… (129)
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科)) 迎 寛
- JP3-3 ファージ療法の進展と抗酸菌感染症への応用…………… (130)
 (自治医科大学医学部感染・免疫学講座細菌学部門) 渡邊 真弥
- JP3-4 抗酸菌症に対する新たな併用療法 ……………(岡山大学病院薬剤部) 三澤 可奈 (130)

<エキスパート委員会企画セミナー>

1. 多剤耐性結核 その定義と現況、治療の変遷について …………… (133)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院結核センター) 奥村 昌夫

6月6日(金) 9:00~9:30 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)

座長 (国立病院機構大牟田病院呼吸器内科) 若 松 謙太郎

2. 抗酸菌症合併症/後遺症としての肺アスペルギルス症…(国立病院機構東京病院呼吸器内科) 鈴木 純子 (133)

6月6日(金) 9:30~10:00 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)

座長 (松山市民病院呼吸器内科) 森 高 智 典

3. 肺外 NTM 症と医療関連感染 …………… (134)
 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 伊藤 穂

6月6日(金) 10:00~10:30 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)

座長 (熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座) 坂 上 拓 郎

4. 肺外結核の診断 頻度の多いもの、知っておくべきこと…………… (134)
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 武田 啓太

6月6日(金) 15:20~15:50 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
 座長 (国立病院機構愛媛医療センター呼吸器内科) 阿部 聖裕

5. 結核初回治療の基本—治療の原理と知っておくべきこと、海外の事情—…………… (135)
 (鳥取県立中央病院感染症・総合内科/鳥取大学医学部臨床感染症学講座) 千酌 浩樹

6月6日(金) 15:50~16:20 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
 座長 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 露口 一成

6. 肺NTM症治療の基本(MAC, *M. kansasii*, *M. abscessus*) …………… (135)
 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 中川 拓

6月6日(金) 16:20~16:50 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
 座長 (福岡大学医学部呼吸器内科) 藤田 昌樹

7. 抗酸菌治療薬の副作用とその対策—結核治療および非結核性抗酸菌症で用いる主な薬剤について—…………… (136)
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 佐々木結花

6月6日(金) 17:00~17:30 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
 座長 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科)) 迎 寛

8. 潜在性結核感染症への対応 誰にどのような治療を行うか 外国人結核対策も含めて …………… (136)
 (国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 高崎 仁

6月6日(金) 17:30~18:00 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
 座長 (日本赤十字社仙台赤十字病院呼吸器内科) 三木 誠

9. 結核における行政の役割~横浜市における患者支援について~…………… (137)
 (横浜市医療局健康安全部健康安全課(横浜市保健所)) ○竹澤 智湖、菅野 美穂、竹生田美苗
 赤松 智子

6月6日(金) 18:00~18:30 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
 座長 (公益財団法人結核予防会事業部) 永田 容子

10. 抗酸菌症の疫学(世界と日本) 結核と非結核性抗酸菌症について…………… (137)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学部) 内村 和広

6月7日(土) 8:20~8:50 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
 座長 (国立病院機構南岡山医療センター) 谷本 安

11. 宿主免疫応答を利用した抗酸菌感染症の検査法 ……………(慶應義塾大学保健管理センター) 西村 知泰 (138)

6月7日(土) 8:50~9:20 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)

座長 (弘前大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座) 田坂 定智

12. 抗酸菌感染症診断治療のための検査をどう進めるか(TBとNTMの違い) …………… (138)

(大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座/医学部附属病院感染制御部) 山本 剛

6月7日(土) 9:20~9:50 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡

<優秀演題発表(若手)>

6月6日(金) 9:00~10:00 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)

座長 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科) 伊藤 明広

(富山大学学術研究部医学系感染症学講座) 山本 善裕

<優秀演題発表(一般)>

6月6日(金) 10:00~11:00 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)

座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科細菌学分野) 松本 壮吉

(弘前大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座) 田坂 定智

<医学生・研修医セミナー>

結核・非結核性抗酸菌症診療の基礎知識からピットフォール・クリニカルパールまで: 医学生・初期研修医のための実践セッション…………… (141)

6月7日(土) 9:00~10:30 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)

オーガナイザー (佐野厚生総合病院呼吸器内科) 浅見 貴弘

(東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科) 八木 一馬

講師 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 倉原 優

(亀田総合病院呼吸器内科) 中島 啓

(日本鋼管病院呼吸器内科) 田中 希宇人

(杏林大学呼吸器内科) 皿谷 健

6月7日(土) 13:20~14:50 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)

オーガナイザー (佐野厚生総合病院呼吸器内科) 浅見 貴弘

(東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科) 八木 一馬

講師 (島根大学地域医療教育学講座) 長尾 大志

(新潟大学医歯学総合病院呼吸器・感染症内科) 番場 祐基

＜ランチョンセミナー＞

1. 気管支拡張症の疫学と病態

- 1-1. 気管支拡張症疫学研究の最前線 (国立病院機構大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 木田 博
- 1-2. 炎症・感染・粘液線毛クリアランス異常から紐解く気管支拡張症の病態
(慶應義塾大学医学部呼吸器内科) 朝倉 崇徳

6月6日(金) 12:20~13:10 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)
座長 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 森 本 耕 三

共催: インスメッド合同会社メディカルアフケアーズ部

2. 高齢者の肺炎予防の重要性～肺炎球菌ワクチンとRSVワクチン接種の意義について考える～

- 2-1. 肺炎球菌感染症におけるワクチン予防の重要性～高齢者および重症化ハイリスク群への対応～
(名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科) 進藤有一郎
- 2-2. 高齢者におけるRSウイルス感染症に対して今できること～RSウイルスワクチンへの期待～
(昭和医科大学病院感染症内科) 時松 一成

6月6日(金) 12:20~13:10 B会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)
座長 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科)) 迎 寛

共催: ファイザー株式会社

3. 非結核性抗酸菌症の検査診断の現状と新たなモダリティへの期待

(慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室) 上菱 義典

6月6日(金) 12:20~13:10 C会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 301)
座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡

共催: 株式会社医学生物学研究所

4. NTMのゲノムダイナミクス—進化・適応・薬剤耐性のメカニズム

(慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖

6月6日(金) 12:20~13:10 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
座長 (北海道大学大学院医学研究院呼吸器内科学教室) 今 野 哲

共催: 東ソー株式会社

5. 抗菌薬の未来を切り開く～アップデートされたガイドラインが示す呼吸器感染症におけるキノロン系薬の新たな役割～
(日本赤十字社仙台赤十字病院呼吸器内科) 三木 誠

6月6日(金) 12:20～13:10 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)
座長 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野(臨床検査医学)) 柳 原 克 紀

共催: 杏林製薬株式会社

6. 実臨床の中で再認識される、結核診断・治療の重要性
(公益財団法人結核予防会結核研究所) 吉山 崇

6月6日(金) 12:20～13:10 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)
座長 (国立病院機構茨城東病院) 齋 藤 武 文

共催: ヤンセンファーマ株式会社

7. 肺 NTM 症診療の均てん化を目指して
7-1. 吉島病院専門外来で取り組む多職種連携と地域連携
(国家公務員共済組合連合会吉島病院吉島病院呼吸器センター) 尾下 豪人
7-2. 届けるべき治療をベストタイミングで届けるために～専門医として解決すべき課題と理想～
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野) 武田 和明

6月7日(土) 12:20～13:10 A会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502)
座長 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 露 口 一 成

共催: インスメッド合同会社

8. 気道感染症における AMR への対応
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野) 賀来 敬仁

6月7日(土) 12:20～13:10 B会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)
座長 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南 宮 湖

共催: 塩野義製薬株式会社

9. 重症喘息の新たな治療戦略～抗 TSLP 抗体の臨床経験をふまえて～
(筑波大学医学医療系呼吸器内科) 松山 政史

6月7日(土) 12:20～13:10 C会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 301)
座長 (筑波大学医学医療系呼吸器内科) 檜 澤 伸 之

共催: アストラゼネカ株式会社

10. 慢性炎症性気道疾患—喘息/COPD と気管支拡張症の合併病態—

(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科学教室) 松本 久子

6月7日(土) 12:20~13:10 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)

座長 (東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座呼吸器内科学分野) 杉浦 久敏

共催: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社医薬開発本部

11. CPA 診断と治療

11-1. 抗酸菌に潜む CPA~早期診断のために~

(国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 佐々木結花

11-2. 慢性肺アスペルギルス症のマネージメントについて考える

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野(長崎大学病院呼吸器内科)) 高園 貴弘

6月7日(土) 12:20~13:10 E会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 311+312)

座長 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科)) 迎 寛

共催: 旭化成ファーマ株式会社 メディカル・アフエアーズ部/バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社

12. NPPV を用いた呼吸管理について

(国立病院機構南京都病院呼吸器センター) 角 謙介

6月7日(土) 12:20~13:10 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)

座長 (国立病院機構茨城東病院) 齋藤 武文

共催: 帝人ヘルスケア株式会社

<スポンサーセッション>

1. 目で見る CPA—インタラクティブセッション—

1-1. 症例 1

(大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学) 掛屋 弘

1-2. 症例 2

(宮崎大学医学部内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野) 宮崎 泰可

6月6日(金) 15:20~16:50 B会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)

座長 (愛知医科大学大学院医学系研究科臨床感染症学) 三鴨 廣繁

コメンテーター (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科)

佐々木 結花

(京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学)

長尾 美紀

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野(長崎大学病院呼吸器内科)) 高園 貴弘

共催: 旭化成ファーマ株式会社

2. 結核と IGRA—外国出生者も含めて— (日本赤十字社長崎原爆諫早病院) 福島喜代康

6月6日(金) 15:20~16:20 F会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314)
座長 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科)) 迎 寛

共催:株式会社キアゲン

3. 薬剤耐性遺伝子検査～結核治療の改善と患者負担の軽減～

(公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器内科) 吉山 崇

6月7日(土) 10:50~11:50 B会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)
座長 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 佐々木 結花

共催:ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

4. 肺非結核性抗酸菌症診断基準の改訂と今後の課題

(国立病院機構大阪刀根山医療センター呼吸器内科/臨床研究部抗酸菌研究室) 木田 博

6月7日(土) 10:50~11:50 C会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 301)
座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科細菌学分野) 松本 壮吉

共催:極東製薬工業株式会社

5. T-スポット®.TB 検査における自動化技術と運用

(株式会社エスアールエル染色体・細胞性免疫解析部) 大野 聡

6月7日(土) 14:30~15:20 D会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 302)
座長 (独立行政法人国立病院機構東京病院感染症センター) 永井 英明

共催:株式会社レビティジャパン

<ICD 講習会>

基礎から学ぶ結核の院内感染対策

6月7日(土) 16:00~17:30 B会場(パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)
座長 (千葉大学医学部附属病院感染制御部) 猪狩 英俊
(大阪公立大学大学院医学研究科臨床感染制御学) 掛屋 弘

1. 入院患者に結核患者が判明したら(福岡大学筑紫病院呼吸器内科) 串間 尚子 (145)
2. 気管支内視鏡検査時の感染対策は(名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科) 進藤有一郎 (145)
3. 接触者健診の実際と課題(慶應義塾大学保健管理センター) 西村 知泰 (146)

＜市民公開講座＞

肺非結核性抗酸菌症（肺 NTM 症）と気管支拡張症

6月7日（土） 16:00～17:30 A会場（パシフィコ横浜 会議センター 5F 501+502）

司会（俳優・朗読座主宰）紺野 美沙子

座長（慶應義塾大学医学部感染症学教室）長谷川 直樹

1. 肺 NTM 患者さんと共に歩む—我々、医療従事者が悩んでいること—
（慶應義塾大学医学部感染症学教室）南宮 湖
2. 気管支拡張症ってどんな病気？～過去・現在・未来を語る～
（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科）伊藤 明広
3. 肺 NTM 症にどう考え向き合っていくか—患者から伝えたいこと
肺NTM症患者
4. より良い療養生活を目指して—患者会からのメッセージ
（NPO 法人日本呼吸器障害者情報センター J-BREATH）遠山 和子

共催：インスメッド合同会社メディカルアフェアーズ部
後援：神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

＜一般演題（ポスター）＞

結核・NTM の病態解析①

6月6日（金） 11:10～12:10 ポスター会場1（パシフィコ横浜 会議センター 303+304）

座長（長崎大学病院呼吸器内科）

岩永 直樹

（北里大学薬学部臨床医学（生体制御学研究室））朝倉 崇徳

- P1-1 結核菌の生菌特的なヒト肺由来細胞株に対する細胞傷害活性の解析…………… (149)
 ((公財) 結核予防会結核研究所抗酸菌部/
 北里大学大村智記念研究所/名古屋市立大学大学院薬学研究科衛生化学)
 ○瀧井 猛将
 ((公財) 結核予防会結核研究所抗酸菌部) 山田 博之
 (岡山大学大学院医歯薬研究科口腔微生物) 大原 直也
- P1-2 ベトナム人肺結核再治療例における多剤耐性結核の宿主応答の解析…………… (149)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○土方美奈子、若林 佳子、宮林亜希子
 瀬戸真太郎
 (北海道科学大学薬学部) 前田 伸司
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- P1-3 転写因子 MafB は結核菌感染マウスの感受性を制御する…………… (149)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部/
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学)
 ○引地 遥香、中村 創
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) 大森 志保、瀬戸真太郎、土方美奈子
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学/公益財団法人結核予防会結核研究所)
 慶長 直人

- P1-4 噴霧吸入感染装置を用いた新規肺 MAC 症マウスモデルの構築…………… (149)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部/
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科基礎抗酸菌症学)
 ○中村 創、引地 遥香
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) 大森 志保、瀬戸真太郎、土方美奈子
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科基礎抗酸菌症学/公益財団法人結核予防会結核研究所)
 慶長 直人
- P1-5 COPD モデルを利用した新規肺 MAC 症マウスモデルの構築…………… (150)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○瀬戸真太郎、大森 志保、土方美奈子
 慶長 直人
- P1-6 肺 MAC 症患者の気道上皮細胞におけるエピジェネティック修飾の解析 …… (150)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○宮林亜希子、若林 佳子、瀬戸真太郎
 土方美奈子
 (複十字病院呼吸器センター) 古内 浩司、下田 清美、平松美也子
 白石 裕治、森本 耕三
 (茨城東病院呼吸器外科) 中川 隆行
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- P1-7 AIM を介した肺 MAC 症の慢性化メカニズムの検討 …… (150)
 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座) ○梶原 千晶、館田 一博
- P1-8 肺 *Mycobacterium abscessus* 症のワクチン評価系構築および試作ワクチンの検討 …… (150)
 (日本薬科大学大学院薬学研究科/日本薬科大学薬学部/結核予防会結核研究所抗酸菌部)
 ○渡邊 峰雄
 (日本薬科大学薬学部/結核予防会結核研究所抗酸菌部) 篠田 典子
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡
- P1-9 *Mycobacterium abscessus* に対するエンドライシンの可能性 …… (151)
 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座) ○山田 景土、館田 一博
- P1-10 *CFTR* バリエントを有する日本人集団肺非結核性抗酸菌症の臨床的特徴 …… (151)
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) ○長尾 元太、田中 拓、朝倉 崇徳
 長谷川直樹、加治 正憲、阿瀬川周平
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖

結核・NTM の病態解析②

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科) **進 藤 有一郎**

(福井大学呼吸器内科)

早稲田 優 子

- P2-1 肺 MAC 症の病態形成における活性化好中球関連遺伝子の臨床的意義…………… (151)
 (筑波大学医学医療系呼吸器内科) ○酒井 千緒、松山 政史、中嶋 真之
 松村 聡介、上田 航大、森島 祐子
 檜澤 伸之
 (筑波大学医学医療系呼吸器内科/独立行政法人国立病院機構茨城東病院) 野中 水
 (独立行政法人国立病院機構茨城東病院) 荒井 直樹、石井 幸雄、齋藤 武文

- P2-2 病理所見から解析する非結核性抗酸菌の宿主細胞を介した免疫逃避メカニズム…………… (151)
 (熊本大学大学院生命科学研究部腫瘍病理解析学講座/熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学講座)
 ○矢野 浩夢
 (熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学講座) 藤原 章雄、潘 程、菰原 義弘
 (熊本大学大学院生命科学研究部腫瘍病理解析学講座) 山本 雅大
- P2-3 *Prevotella intermedia* の培養上清は肺胞マクロファージに作用し *Mycobacterium avium* 感染を増悪させる…………… (152)
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野) ○福島 光基
 (長崎大学病院呼吸器内科) 岩永 直樹、武田 和明、吉田 将孝
 高園 貴弘
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野/長崎大学病院呼吸器内科) 芦澤 博貴、迎 寛
 (長崎大学大学院医歯薬総合研究科薬物治療学分野) 平山 達朗
 (長崎大学病院感染症医療人育成センター) 井手昇太郎
 (長崎大学病院感染制御教育センター) 田代 将人
 (長崎大学病院検査部) 小佐井康介、泉川 公一、柳原 克紀
- P2-4 *M. intracellulare* ku11 株由来新規 glycopeptidolipid (GPL) の宿主認識機構…………… (152)
 (帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科) ○藤原 永年
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター) 中屋 慎、星野 仁彦
 (北海道科学大薬学部薬学科) 前田 伸司
- P2-5 肺 MAC 症における Nrf2-SLPI 経路の関与…………… (152)
 (筑波大学医学医療系呼吸器内科) ○松村 聡介、松山 政史、中嶋 真之
 酒井 千緒、上田 航大、野中 水
 蔵本 健矢、際本 拓未、森島 祐子
 檜澤 伸之
- P2-6 肺 *Mycobacterium avium* complex 症における Cavitory NB 型と Non-cavitory NB 型の血清サイトカイン比較検討…………… (152)
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) ○武田 啓太、中村 侑愛、中野 恵理
 渡辺 将人、加藤 貴史、成本 治
 川島 正裕、鈴木 純子、守尾 嘉晃
 田村 厚久、永井 英明、松井 弘稔
 佐々木結花
- P2-7 肺 *Mycobacterium avium* complex 症の既往を有する患者における末梢血単核球機能の特徴…………… (153)
 (千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学) ○村井 優志、川崎 剛、今本 拓郎
 石井 大介、鈴木 拓晃
- P2-8 同一患者から分離された形態の異なる *Mycobacterium abscessus* complex の脂質分析と系統解析…………… (153)
 (北海道科学大学薬学部) ○前田 伸司
 (大阪公立大学大学院生活科学研究科/大阪公立大学大阪国際感染症研究センター) 和田 崇之
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) 山田 博之
 (独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター) 小林 岳彦、吉田志緒美
 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学) 金城 武士
 (帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科) 藤原 永年

- P2-9 抗 IFN- γ 中和抗体陽性播種性非結核性抗酸菌症の肺病変の解析 …………… (153)
 (総合南東北病院呼吸器内科) ○長谷衣佐乃
 (慶應義塾大学感染症学教室) 南宮 湖
 (国立国際医療研究センター呼吸器内科) 森野英里子
 (国保旭中央病院感染症科/北里大学研究所病院呼吸器内科) 朝倉 崇徳
 (防衛医科大学校内科学講座 (感染症・呼吸器)) 君塚 善文
 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 中川 拓
 (複十字病院呼吸器センター) 森本 耕三
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 佐々木結花
 (さいたま市立病院呼吸器内科) 館野 博喜
 (倉敷中央病院呼吸器内科) 伊藤 明広
 (熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座) 坂上 拓郎
- P2-10 抗 IFN- γ 中和抗体陽性播種性非結核性抗酸菌症 12 例の FDG-PET/CT の解析 …………… (153)
 (総合南東北病院呼吸器内科) ○長谷衣佐乃
 (慶應義塾大学感染症学教室) 南宮 湖
 (北里大学研究所病院呼吸器内科) 朝倉 崇徳
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 佐々木結花
 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 中川 拓
 (複十字病院呼吸器センター) 森本 耕三
 (さいたま市立病院呼吸器内科) 館野 博喜
 (熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学講座) 坂上 拓郎

結核・NTM の細菌学

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科) 八 木 一 馬
 (金沢大学医薬保健研究域医学系感染症科学・臨床検査医学) 金 森 肇

- P3-1 感染様式が異なる *Mycobacterium avium* の遺伝学的特徴および薬剤感受性の違い …………… (154)
 (名城大学薬学部/独立行政法人国立病院機構東名古屋病院臨床研究部) ○岩間 礼華、横山 陽
 番場真友子、三浦 拳輝
 (名城大学薬学部) 打矢 恵一、輪島 丈明
 (独立行政法人国立病院機構東名古屋病院臨床研究部) 中川 拓、小川 賢二
- P3-2 *Mycobacterium abscessus* 及び *M. massiliense* に対する各種抗菌薬感受性の評価と病原性の簡易的評価
 …………… (154)
 (東京薬科大学薬学部臨床微生物学教室) ○瀬山 翔史、中南 秀将
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室/慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室) 上蓑 義典
- P3-3 速育化した BCG の宿主内での増殖 …………… (154)
 (岡山大学学術研究院医歯薬学域口腔微生物学分野) ○大原 直也
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 阿戸 学
- P3-4 MAC 感染症治療に用いられる抗菌薬の併用活性評価: 文献レビューと国内臨床分離株を用いた実験的検証
 …………… (154)
 (藤田医科大学感染症研究センター) ○デュアーフィオナ、伊藤 駿、港 雄介
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖

- P3-5 3剤併用時に *M. abscessus* に対して相乗効果を示す抗菌薬の探索—DiaMOND法を用いて— …… (155)
(藤田医科大学感染症研究センター) ○伊藤 駿、港 雄介
- P3-6 医原性にレボフロキサシン耐性 Pre-XDR-TB に進展した症例の遺伝子検査結果をふまえた報告 … (155)
(結核研究所臨床・疫学部) ○鶴飼 友彦、大角 晃弘
(複十字病院呼吸器内科) 吉山 崇
(結核研究所抗酸菌部) 青野 昭男、高木 明子、御手洗 聡
- P3-7 ゲノム解析で明らかになった新種 *Mycobacterium gordonae* の報告 …… (155)
(大阪刀根山医療センター呼吸器内科) ○原 侑紀、新居 卓朗、松木 隆典
辻野 和之、木田 博
(大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学) 橋本 和樹、福島 清春
- P3-8 西アフリカ諸国出身の肺結核症患者における *Mycobacterium tuberculosis complex* の variant の検討
…………… (155)
(結核予防会複十字病院呼吸器センター/結核予防会結核研究所抗酸菌部) ○児玉 達哉
(結核予防会複十字病院呼吸器センター) 奥村 昌夫、吉山 崇、森本 耕三
田中 良明、尾形 英雄、大田 健
(結核予防会結核研究所抗酸菌部) 近松 絹代、高木 明子、御手洗 聡
- P3-9 長期気管切開患者における非結核性抗酸菌の検出と院内肺炎との関連 …… (156)
(大分大学医学部結核医療体制強化事業) ○脇坂 真由
(大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座/
大分大学医学部結核医療体制強化事業/独立行政法人国立病院機構西別府病院呼吸器内科)
山末 まり
(大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 小宮 幸作
(独立行政法人国立病院機構西別府病院呼吸器内科) 中野 哲治、瀧川 修一、後藤 一也

結核の臨床研究

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (国立病院機構東京病院呼吸器内科) 鈴木 純子
(公益財団法人結核予防会複十字病院睡眠時無呼吸症候群治療センター) 上山 雅子

- P4-1 GLIM 基準低栄養を用いた結核患者の栄養評価と入院期間の関連 …… (156)
(独立行政法人国立病院機構東名古屋病院栄養管理室) ○小野田慎平、白井よしの、倉野 正志
(国立長寿医療研究センター栄養管理部) 高木咲穂子
(独立行政法人国立病院機構東名古屋病院看護部) 清水 風花、南部 未歩
(独立行政法人国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 中川 拓
- P4-2 粟粒結核における脳結核の併発頻度及び併発要因に関する臨床的検討 …… (156)
(NHO 大牟田病院呼吸器内科) ○若松謙太郎、熊副 洋幸、野田 直孝
片平 雄之、川崎 雅之
(福岡山王病院呼吸器内科) 永田 忍彦
- P4-3 肺結核における核酸増幅検査反復実施が診断精度に与える影響の検討 …… (156)
(東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科) ○鹿子木拓海、卜部 尚久、渡邊 啓也
時田 望、安西 七海、三好 嗣臣
坂本 晋、岸 一馬

- P4-4 肺結核患者における Computed Tomography を用いた画像所見と病勢・予後の関連性の検討 …… (157)
 (国立病院機構奈良医療センター内科・呼吸器科) ○岡田 吉弘、富田 大、小山 友里
 熊本 牧子、芳野 詠子、田中小百合
 板東 千昌、久下 隆、玉置 伸二
- P4-5 当院において活動性肺結核再増悪により再入院が必要となった症例の臨床的検証 …… (157)
 (独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器内科) ○田中阿利人、荒木 規仁、河合 治
 大久保泰之、布施川久恵、中村 守男
 (独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器外科) 杉浦八十生、橋詰 壽律
- P4-6 結核診療に RIF 耐性遺伝子変異検査を導入した効果と課題 …… (157)
 (大阪はびきの医療センター臨床検査科) ○田村 嘉孝
 (大阪はびきの医療センター感染症内科) 永井 裕太、前田 恭兵、仮屋 勇希
 韓 由紀、永井 崇之
 (大阪羽曳野医療センター臨床研究部) 橋本 章司
- P4-7 Xpert MTB/RIF でリファンピシン耐性と報告された症例の検討 …… (157)
 (国立国際医療研究センター呼吸器内科) ○草場 勇作、高崎 仁、森野英里子
 辻本 佳恵、石田あかね、橋本 理生
 鈴木 学、軒原 浩、泉 信有
 放生 雅章
- P4-8 2009 年から 2021 年にかけての静岡県中部における粟粒結核入院患者の臨床的特徴 …… (158)
 (島田市立総合医療センター呼吸器内科) ○金田 桂
 (静岡県立総合病院呼吸器内科) 白井 敏博、赤松 泰介
- P4-9 当院における抗酸菌培養検査の実施状況と受診背景の分析 …… (158)
 (かわぐち心臓呼吸器病院) ○大河原 恵、鈴木 学、佃 将吾
- P4-10 当院における抗酸菌検出数の年次推移についての検討 …… (158)
 (磐田市立総合病院呼吸器内科) ○原田 雅教、佐竹 康臣、妹川 史朗
- P4-11 2014 年と 2024 年における結核病棟入院患者の比較検討
 …… (大阪市立十三市民病院感染症内科) ○笠松 悠、山入 和志 (158)
- P4-12 当院における皮膚結核 14 例の臨床的検討 …… (159)
 (神戸市立西神戸医療センター呼吸器内科) ○佐藤 宏紀、吉村聡一郎、徳重 康介
 益田 隆広、浜崎 直子、三輪菜々子
 木田 陽子、瀬瀬 力也、多田 公英

結核の症例報告

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学) 川崎 剛

(三重大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野) 小林 哲

- P5-1 当院で経験した多剤耐性結核の2例 …… (159)
 (国立病院機構大牟田病院呼吸器内科) ○野田 直孝、片平 雄之、福山 聡
 若松謙太郎、川崎 雅之
- P5-2 当院で経験した HIV 感染合併結核 4 症例 …… (159)
 (山梨県立中央病院) ○宮下 義啓、柿崎有美子、筒井 俊晴
 齋藤 良太、小林 寛明、川口 諒
 森川穂奈美、井上 拓也

- P5-3 咳嗽に対し呼吸器内科医がICSを処方した後に気管支結核と診断された看護師の2例 …… (159)
 (さいたま市立病院呼吸器内科) ○ 館野 博喜、浅見 優
- P5-4 アモキシシリン/クラブラン酸投与により診断が遅れた舌区肺結核の一例 …… (160)
 (さいたま市立病院呼吸器内科) ○ 館野 博喜、浅見 優
- P5-5 リファンピシンが原因と考えられる皮膚白血球破碎性血管炎を発症し広範な下肢の紫斑を呈した肺結核症例 …… (160)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科) ○ 田中 悠也
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科/
 国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染症内科/国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター)
 倉原 優、露口 一成
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 小林 岳彦、吉田志緒美
- P5-6 無気肺を呈し乳癌再発と鑑別を要した気管支結核の1例 …… (160)
 (独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター呼吸器内科) ○ 森田 大智、粉川 聡史
 垂見 啓俊、坂倉 康正、西村 正
 内藤 雅大、井端 英憲
 (三重大学医学部附属病院呼吸器内科) 藤本 源、小林 哲
- P5-7 胸部画像上、非典型的な肺結核の四例 …… (160)
 (筑波メディカルセンター病院呼吸器内科) ○ 中村 研太、清水 圭、飯島 弘晃
 (独立行政法人国立病院機構茨城東病院呼吸器内科) 野中 水、荒井 直樹、兵頭健太郎
 金澤 潤、齋藤 武文
- P5-8 悪性胸膜中皮腫に対してイピリムマブ+ニボルマブ療法中に粟粒結核を発症し急激な経過で死亡した1例 …… (161)
 (独立行政法人国立病院機構青森病院呼吸器内科) 白鳥 俊博
- P5-9 視神経脊髄炎治療中に活動性結核を合併した一例 …… (161)
 (長崎大学病院感染症医療人育成センター) ○ 川瀧 正典
 (長崎大学病院呼吸器内科) 野嶋 朋太、吉田 将孝、武田 和明
 岩永 直樹、高園 貴弘
 (長崎大学病院感染症医療人育成センター/長崎大学病院呼吸器内科) 井手昇太郎
 (長崎大学病院臨床研究センター) 細萱 直希
 (長崎大学病院感染制御教育センター) 泉川 公一
 (長崎大学病院検査部) 柳原 克紀
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学大学院呼吸器内科学分野) 迎 寛
- P5-10 多剤耐性肺結核治療中に薬剤性QT延長症候群による心停止を来した1例 …… (161)
 (大阪はびきの医療センター感染症内科) ○ 永井 裕太、前田 恭兵、仮屋 勇希
 韓 由紀、橋本 章司、永井 崇之
 (大阪はびきの医療センター感染症内科/大阪はびきの医療センター臨床検査科) 田村 嘉孝
- P5-11 悪性リンパ腫として経過観察され粟粒結核からARDSを呈した1剖検例 …… (161)
 (東京都立多摩総合医療センター呼吸器・腫瘍内科) ○ 山本 美暁、松田 周一、木庭 太郎
 和田 暁彦、高森 幹雄
- P5-12 石灰化した縦隔リンパ節の瓦解により形成された炎症性気管支ポリープの1例 …… (162)
 (市立函館病院呼吸器内科) ○ 上村幸二郎、山添 雅己

 非結核性抗酸菌症の臨床研究（診断）

6月6日（金） 11:10~12:10 ポスター会場1（パシフィコ横浜 会議センター 303+304）

座長（産業医科大学若松病院呼吸器内科）山崎 啓
（山形大学医学部附属病院第一内科）井上 純人

- P6-1 非結核性抗酸菌症における喀痰の質的評価の臨床的意義について…………… (162)
（国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター）○小林 岳彦、田中 悠也
吉田志緒美
（国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/
国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科）
倉原 優、露口 一成
- P6-2 肺 *Nontuberculous mycobacterium* 症診断における喀痰検体の品質評価の意義 The significance of spu-
tum specimen quality evaluation in the diagnosis of nontuberculous mycobacterium pulmonary disease
…………… (162)
（東邦大学医学部医学科内科学講座呼吸器内科学分野（大森））○武市 牧子、卜部 尚久
時田 望、渡邊 啓也、安西 七海
鹿子木拓海、三好 嗣臣、坂本 晋
岸 一馬
- P6-3 胃液培養で診断した肺 *Mycobacterium avium* complex 症の治療成績の検討…………… (162)
（神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科/東京医科大学病院呼吸器内科）○大熊 堯
（神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科）萩原 恵里、田上 陽一、大川 亮太
田畑恵里奈、池田 慧、奥田 良
関根 朗雅、北村 英也、馬場 智尚
小松 茂、小倉 高志
- P6-4 神奈川県西部に位置する当院における、稀少菌種の非結核性抗酸菌の検出状況…………… (163)
（独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器内科）○中村 守男、田中阿利人、荒木 規仁
河合 治、布施川久恵、大久保泰之
（独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器外科）杉浦八十生、橋詰 壽律
- P6-5 肺非結核性抗酸菌（NTM）症の立位/臥位胸部CTを用いた肺体積の定量評価…………… (163)
（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）○加治 正憲、田中 拓、飯塚 紳
小澤 拓矢、福永 直輝、長尾 元太
阿瀬川周平、中川原賢亮、鎌田 浩史
（慶應義塾大学医学部呼吸器内科/北里大学薬学部薬学科臨床医学/北里研究所病院呼吸器内科）
朝倉 崇徳
（慶應義塾大学医学部感染症学教室）南宮 湖、長谷川直樹
（慶應義塾大学医学部放射線科）山田 祥岳
- P6-6 肺 MAC 症に対する FDG-PET/CT を用いた疾患活動性評価の探索的研究…………… (163)
（長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学）○高園 貴弘
（長崎大学病院臨床研究センター）細萱 直希
（長崎大学病院呼吸器内科）吉田 将孝、武田 和明、岩永 直樹
迎 寛
（長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染症医療人育成センター）井手昇太郎
（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学）泉川 公一
（長崎大学病院検査部）柳原 克紀

- P6-7 肺 MAC 症の予後予測スコアモデルの作成～多施設共同後ろ向き観察研究～…………… (163)
 (長崎大学病院呼吸器内科) ○武田 和明、高園 貴弘、吉田 将孝
 岩永 直樹、迎 寛
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染症医療人育成センター) 井手昇太郎
 (長崎大学病院臨床研究センター) 細萱 直希
 (大分大学グローバル感染症研究センター/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学) 小宮 幸作
 (長崎大学病院感染制御教育センター) 泉川 公一
 (長崎大学病院検査部) 柳原 克紀
- P6-8 説明可能な人工知能(XAI)を使用した肺非結核性抗酸菌(NTM)症の重症化予測モデルの確立 …… (164)
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) ○小澤 拓矢
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科/
 北里大学薬学部臨床医学(生体制御学)/北里大学北里研究所病院呼吸器内科)
 朝倉 崇徳
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹
- P6-9 抗 GPL-IgA 抗体陰性で MAC 症と診断された症例の検討 …………… (164)
 (独立行政法人国立病院機構沖縄病院呼吸器内科) ○名嘉山裕子、大湾 勤子、藤田 香織
 知花 賢治、比嘉真理子、仲本 敦
 比嘉 太
 (独立行政法人国立病院機構沖縄病院呼吸器内科/琉球大学病院第一内科) 金城 武士
 (琉球大学病院第一内科) 山本 和子
- P6-10 当院における MAC 抗体陽性例の検討…………… (164)
 (独立行政法人国立病院機構沖縄病院呼吸器内科) ○藤田 香織、大湾 勤子、名嘉山裕子
 比嘉真理子、知花 賢治、仲本 敦
 比嘉 太、山本 和子
 (独立行政法人国立病院機構沖縄病院呼吸器内科/琉球大学病院第一内科) 金城 武士
- P6-11 MAC 症を疑い気管支鏡下洗浄を行ったが培養陰性であった症例の臨床的検討 …………… (164)
 (藤田医科大学呼吸器内科) ○桐生 七海、堀口 智也、岡村 拓哉
 橋本 直純、今泉 和良
- P6-12 気管支拡張症における原発性線毛機能不全症候群(PCD)診断のための鼻腔 NO 検査の有用性…… (165)
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) ○飯塚 紳、田中 拓、小澤 拓矢
 長尾 元太、阿瀬川周平、加治 正憲
 鎌田 浩史
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科/北里大学薬学部生体制御学) 朝倉 崇徳
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科/東京歯科大学市川総合病院) 森田 篤帆

 非結核性抗酸菌症の臨床研究（臨床像）

6月6日（金） 11:10~12:10 ポスター会場1（パシフィコ横浜 会議センター 303+304）

 座長（亀田総合病院呼吸器内科） 中島 啓
 （福岡大学筑紫病院感染制御部呼吸器内科） 串間 尚子

- P7-1 *M. intracellulare* と *M. chimaera* の臨床的特徴の比較…………… (165)
 （長崎大学病院呼吸器内科）○武田 和明、福島 光基、吉田 將孝
 岩永 直樹、高園 貴弘、迎 寛
 （長崎大学病院検査部）川元 康嗣、小佐井康介、柳原 克紀
 （佐世保市総合医療センター呼吸器内科）田中 康大
 （長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染症医療人育成センター）井手昇太郎
 （長崎大学病院感染制御教育センター）泉川 公一
 （長崎原爆諫早病院呼吸器内科）福島喜代康
- P7-2 当院における非結核性抗酸菌症症例（主に肺 MAC 症）の臨床的検討…………… (165)
 （NHO 高知病院呼吸器センター内科）○畠山 暢生、松村 侑吾、門田 直樹
 岡野 義夫、町田 久典、竹内 栄治
- P7-3 孤立結節型陰影を呈する肺 MAC 症および肺 *M. kansasii* 症の検討…………… (165)
 （神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科）○平林 亮介
 （公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科）伊藤 明広
- P7-4 肺 *Mycobacterium avium* complex 症の治療後の再発リスクについての検討…………… (166)
 （東京慈恵会医科大学附属第三病院）○新福 響太、高坂 直樹、石川 威夫
 （東京慈恵会医科大学附属病院）奥田慶太郎、宮川 英恵、原 弘道
- P7-5 気道クリアランス法を継続的に必要とする肺非結核性抗酸菌症患者の臨床的特徴…………… (166)
 （結核予防会複十字病院呼吸ケアリハビリセンター/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
 ○豊田 裕規、大野 一樹、大松 峻也
 川原 一馬
 （結核予防会複十字病院呼吸ケアリハビリセンター）髻谷 満
 （長崎大学大学院医歯薬学総合研究科/結核予防会複十字病院呼吸器センター）森本 耕三
 （長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）神津 玲
- P7-6 肺 MAC 症患者の健康関連 QOL が多剤併用療法の効果に与える影響…………… (166)
 （国家公務員共済組合連合会吉島病院呼吸器内科）○尾下 豪人、緒方 美里、井上亜沙美
 佐野 由佳、吉岡 宏治、池上 靖彦
 山岡 直樹
 （国家公務員共済組合連合会吉島病院リハビリテーション科）神田 直人
 （国家公務員共済組合連合会吉島病院看護部）筒井 有紀
 （国家公務員共済組合連合会吉島病院栄養科）野間 智美

- P7-7 本邦の肺非結核性抗酸菌症 (NTM) を含む気管支拡張症の増悪因子 …………… (166)
 (慶應義塾大学) ○小澤 拓矢、朝倉 崇徳、田中 拓
 南宮 湖、八木 一馬、鎌田 浩史
 福永 興壺、長谷川直樹
 (複十字病院) 森本 耕三
 (倉敷中央病院) 伊藤 明広
 (国立国際医療研究センター病院) 森野英里子
 (東名古屋病院) 中川 拓
 (松江医療センター) 門脇 徹
 (総合南東北病院) 長谷衣佐乃
 (神戸市立医療センター中央市民病院) 平林 亮介
 (さいたま市立病院) 館野 博喜
 (東京医療センター) 小山田吉孝
 (福岡大学) 藤田 昌樹
 (大阪刀根山医療センター) 木田 博
 (名古屋大学) 石井 誠
- P7-8 肺非結核性抗酸菌症患者におけるフレイルと関連因子の検討…………… (167)
 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) ○加藤 千博、伊藤 穰
 森 祐太、上村 剛大、新実 彰男
 (名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学) 中村 敦
- P7-9 肺非結核性抗酸菌症外来患者において3ヵ月間の運動療法と栄養療法が心身機能に及ぼす効果の検討
 …………… (167)
 (国家公務員共済組合連合会吉島病院リハビリテーション科) ○神田 直人
 (国家公務員共済組合連合会吉島病院看護部) 筒井 有紀
 (国家公務員共済組合連合会吉島病院栄養科) 野間 智美
 (国家公務員共済組合連合会吉島病院呼吸器内科) 尾下 豪人、吉岡 宏治、池上 靖彦
 山岡 直樹
- P7-10 当院で分離された *Mycobacterium avium* complex でない非結核性抗酸菌の臨床像に関する検討 … (167)
 (東京都立多摩総合医療センター呼吸器腫瘍内科) ○松田 周一、木庭 太郎、山本 美暁
 和田 暁彦、高森 幹雄
- P7-11 肺外非結核性抗酸菌 (NTM) 症の治療と臨床転帰に関する多施設後方視的研究 …………… (167)
 (慶應義塾大学医学部/慶應義塾大学大学院医学研究科) ○阿瀬川周平
 (慶應義塾大学医学部) 朝倉 崇徳、田中 拓、上菘 義典
 南宮 湖、長谷川直樹
 (倉敷中央病院) 中西 陽祐
 (防衛医科大学校内科学講座 (感染症・呼吸器)) 伊藤 弘毅、君塚 善文
 (複十字病院) 下田 真史、森本 耕三
 (慶應義塾大学大学院医学研究科/国立国際医療研究センター病院) 森野英里子

 非結核性抗酸菌症の臨床研究（治療①）

6月6日（金） 11:10~12:10 ポスター会場1（パシフィコ横浜 会議センター 303+304）

座長（島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科）濱口 愛
 （琉球大学病院総合臨床研修・教育センター）原永修作

- P8-1 非結核性抗酸菌症におけるエタンプトールの脱感作療法のプロトコル検討…………… (168)
 （慶應義塾大学医学部内科学教室（呼吸器））○阿瀬川周平、田中 拓、加治 正憲
 長尾 元太、小澤 拓矢、飯塚 紳
 朝倉 崇徳、鎌田 浩史、長谷川直樹
 （慶應義塾大学医学部感染症学教室）南宮 湖
- P8-2 MAC 症治療に対するクラリスロマイシン（アジスロマイシン）とエタンプトールの2剤間欠治療の検討
 …………… (168)
 （国立病院機構天竜病院）○白井 正浩、中村祐太郎、金井 美穂
 大場 久乃、藤田 薫、伊藤 靖弘
 大嶋 智子、藤坂 由佳
- P8-3 肺 MAC 症標準治療でのリファンピシン併用の有無による長期予後への影響…………… (168)
 （国立病院機構天竜病院呼吸器・アレルギー科）○中村祐太郎、金井 美穂、大場 久乃
 藤田 薫、岩泉江里子、伊藤 靖弘
 大嶋 智子、永福 建、藤坂 由佳
 白井 正浩
- P8-4 肺 MAC 症の経過観察例と治療例の長期予後～多施設共同後ろ向き観察研究～…………… (168)
 （長崎大学病院感染症医療人育成センター/長崎大学病院呼吸器内科）○井手昇太郎
 （長崎大学大学院呼吸器内科学分野）田中 康大
 （長崎大学病院呼吸器内科）吉田 将孝、武田 和明、岩永 直樹
 高園 貴弘
 （長崎大学病院臨床研究センター）細萱 直希
 （大分大学グローバル感染症研究センター/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学）小宮 幸作
 （長崎大学病院感染制御教育センター）泉川 公一
 （長崎大学病院検査部）柳原 克紀
 （長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学大学院呼吸器内科学分野）迎 寛
- P8-5 当院における肺非結核性抗酸菌症症例の治療状況の検討…………… (169)
 （国立病院機構沖縄病院）○知花 賢治、比嘉真理子、名嘉山裕子
 藤田 香織、仲本 敦、比嘉 太
 大湾 勤子
 （琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座）金城 武士
- P8-6 肺 NTM 症における実臨床での治療介入と予後…………… (169)
 （山梨県立中央病院肺がん・呼吸器病センター呼吸器内科）○柿崎有美子、川口 諒
 齋藤 良太、筒井 俊晴、宮下 義啓
- P8-7 肺 *Mycobacterium avium complex* 症に対する Sitafloxacin の有効性の検討…………… (169)
 （東邦大学医学部医学科内科学講座呼吸器内科学分野（大森））○卜部 尚久、武市 牧子
 時田 望、渡邊 啓也、安西 七海
 鹿子木拓海、三好 嗣臣、坂本 晋
 岸 一馬

- P8-8 肺 MAC 症初回治療導入に AMK 静注を併用した症例の検討…………… (169)
 (公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科) ○寺元 智希、伊藤 明広
 石田 直
 (公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院臨床検査・感染症科) 橋本 徹
- P8-9 肺 *Mycobacterium avium complex* 症におけるマクロライド耐性化の可塑性…………… (170)
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学) ○船内 敦司、安部 祐子、福島 清春
 橋本 和樹、新津 敬之、熊ノ郷 淳
 (大阪大学微生物病研究所感染症メタゲノム研究分野) 松本 悠希、元岡 大佑、中村 昇太
 (大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 北田 清悟、新居 卓郎、松木 隆典
 木田 博
- P8-10 肺 *Mycobacterium avium complex* 症における標準治療によるマクロライド耐性化の頻度とリスク因子
 …………… (170)
 (結核予防会複十字病院呼吸器センター) ○伊藤 優志、古内 浩司、藤原 啓司
 児玉 達哉、大江 崇、田中 良明
 吉山 崇、尾形 英雄、大田 健
 森本 耕三

非結核性抗酸菌症の臨床研究 (治療②)

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (一般財団法人 筑波麓仁会 筑波学園病院呼吸器内科) 小川 良子
 (国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター) 倉原 優

- P9-1 アミカシン・リポゾーム吸入用懸濁液(ALIS)使用中の難治性肺 *Mycobacterium avium complex* (MAC)
 症患者が抱える困難と、ALIS 継続のために望まれる支援—ALIS 使用患者からの声—…………… (170)
 (千葉大学医学部医学科) ○加瀬 舞香
 (千葉大学医学部附属病院呼吸器内科) 笠井 大、川崎 剛、塩谷 優
 村井 優志、鈴木 拓児
 (千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター) 吉田 幸恵
- P9-2 肺 MAC 症に対するアミカシンリポゾーム吸入用懸濁液(ALIS)使用例 44 例の検討とアミカシン耐性遺伝子
 の検証…………… (170)
 (国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター/
 国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 内科)
 ○倉原 優
 (国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター) 吉田志緒美、小林 岳彦
 (結核予防会 結核研究所) 御手洗 聡、露口 一成
 (国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 内科) 田中 悠也
- P9-3 Amikacin liposomal inhalation suspension を吸入した肺 MAC 症患者の肺病理検体の検討…………… (171)
 (東邦大学医療センター 佐倉病院呼吸器内科) ○若林 宏樹、大橋 稜悟、南波 健介
 櫻井 大雅、入江 祐介、高島 健太
 村上 悠、磯部 和順
 (東邦大学医療センター 佐倉病院 病院病理部) 蛭田 啓之
- P9-4 ALIS 吸入療法中に定着緑膿菌がアミノグリコシドおよびキノロン耐性を示した難治性肺 MAC 症の 2
 症例…………… (飯塚病院呼吸器内科) ○花香未奈子、飛野 和則 (171)

- P9-5 アミカシンリポソーム吸入用懸濁液（アリケイス）を導入した難治性肺 MAC 症 12 例の解析 … (171)
 (福岡大学病院呼吸器内科) ○柳原 豊史、大崎 優亮、春藤 裕樹
 濱田 直樹、藤田 昌樹
- P9-6 アミカシンリポソーム吸入懸濁液（ALIS）を導入した難治性肺 MAC 症例の臨床的検討～アミカシン（AMK）耐性化症例を中心に～…………… (171)
 (国立病院機構天竜病院呼吸器・アレルギー科) ○大場 久乃、大嶋 智子、永福 建
 伊藤 靖弘、岩泉江里子、藤田 薫
 金井 美穂、中村祐太郎、白井 正浩
 (国立病院機構天竜病院治験管理室) 藤坂 由佳
- P9-7 AMK 吸入療法を導入した難治性肺 MAC 症の臨床的特徴…………… (172)
 (福島県立医科大学呼吸器内科) ○二階堂雄文、谷野 功典、東川 隆一
 佐藤 理子、鈴木 康仁
- P9-8 マクロライド耐性の肺 *Mycobacteriu avium complex* 症に対するアミカシン硫酸塩吸入用製剤 (ALIS) を用いた治療戦略…………… (172)
 (結核予防会複十字病院呼吸器センター) ○伊藤 優志、古内 浩司、藤原 啓司
 児玉 達哉、大江 崇、田中 良明
 吉山 崇、尾形 英雄、大田 健
 森本 耕三
 (結核予防会複十字病院呼吸器センター/東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科) 時田 望
- P9-9 難治性肺 MAC 症患者におけるアミカシンリポソーム吸入懸濁液療法の使用経験—10 例の検討—
 ……………… (172)
 (産業医科大学病院呼吸器内科/産業医科大学若松病院呼吸器内科) ○真鍋 大樹
 (産業医科大学病院呼吸器内科) 根本 一樹、池上 博昭、田原 正浩
 矢寺 和博
 (産業医科大学若松病院呼吸器内科) 山崎 啓
- P9-10 ALIS 導入後の肺 MAC 症の外科治療…………… (172)
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター外科) ○深見 武史、四元 拓真、松本 小琳
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター内科) 日下 圭、佐藤 亮太、島田 昌裕
 成本 治、川島 正裕、鈴木 純子
 大島 信治、守尾 嘉晃、田村 厚久
 永井 英明、佐々木結花、松井 弘稔
 (国立病院機構東京病院病理部) 木谷 匡志、蛇澤 晶

 非結核性抗酸菌症の臨床研究（アブセッサス症）

6月6日（金） 11:10~12:10 ポスター会場1（パシフィコ横浜 会議センター 303+304）

座長（神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科） 萩原 恵里
 （名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学）伊藤 穰

- P10-1 肺非結核性抗酸菌症患者から検出されたアスペルギルススの遺伝子検査による菌種同定結果と臨床的特徴の検討…………… (173)
 （慶應義塾大学医学部呼吸器内科/上大岡内科・呼吸器科クリニック）○鈴木 翔二
 （慶應義塾大学医学部呼吸器内科）朝倉 崇徳、鎌田 浩史
 （慶應義塾大学医学部感染症学教室）南宮 湖、長谷川直樹
 （慶應義塾大学医学部臨床検査医学）上蓑 義典
 （千葉大学真菌医学研究センター）渡邊 哲
- P10-2 繰り返す肺炎患者における非結核性抗酸菌症感染例の特徴に関する検討…………… (173)
 （米子医療センター呼吸器内科）山本 光紘
- P10-3 当院より検出された迅速発育菌 *Mycobacterium abscessus* の検討…………… (173)
 （独立行政法人国立病院機構天竜病院治験管理室）○藤坂 由佳
 （独立行政法人国立病院機構天竜病院呼吸器アレルギー科）中村祐太郎、金井 美穂、大場 久乃
 藤田 薫、岩泉江里子、伊藤 靖弘
 大嶋 智子、永福 建、白井 正浩
- P10-4 クロファジミン使用患者におけるQT延長発現とリスク因子の関係性について…………… (173)
 （独立行政法人国立病院機構東名古屋病院）○地田 凌、中村あゆみ、平野 淳
 滝 久司、林 悠太、中川 拓
- P10-5 当院における *Mycobacterium abscessus* 症に対する治療介入の有無と予後についての検討…………… (174)
 （国立病院機構西新潟中央病院）○木村 夕香、桑原 克弘、松本 尚也
 宮尾 浩美、大平 徹郎
- P10-6 呼吸器検体から *Mycobacterium abscessus* species が検出された症例についての臨床的検討…………… (174)
 （川崎市立井田病院呼吸器内科）○野口 陽平、梅本真太郎、中垣 達
 西成田詔子、西野 誠、中野 泰
 西尾 和三
 （川崎市立井田病院検査科）菊池 眸、関根 由貴
- P10-7 抗 GPL-core IgA 抗体による肺 *Mycobacterium abscessus* 症の血清学的診断—多施設後方視的研究…………… (174)
 （独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター呼吸器内科）○新居 卓朗、木田 博
 （公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器内科）藤原 啓司、森本 耕三
 （独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター呼吸器内科）小林 岳彦
 （神奈川県立循環器呼吸器病センター呼吸器内科）萩原 恵里
 （大阪大学医学部研究科呼吸器・免疫内科）福島 清春
- P10-8 当院における *M. abscessus complex* 症の亜種間での治療効果の検討…………… (174)
 （国立国際医療研究センター病院呼吸器内科）○勝矢 知里、鈴木 学、草場 勇作
 辻本 佳恵、石田あかね、橋本 理生
 森野英里子、高崎 仁、軒原 浩
 泉 信有、放生 雅章

- P10-9 当院における M.abscessus 症の臨床的検討…………… (175)
 (国家公務員共済連合会吉島病院) ○池上 靖彦、緒方 美里、井上亜沙美
 佐野 由佳、尾下 豪人、吉岡 宏治
 山岡 直樹
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 深野 華子、星野 仁彦
- P10-10 肺マイコバクテリウム・アブセッサス症に対するクロファジミンの医師主導治験…………… (175)
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) ○南宮 湖、長谷川直樹
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) 長尾 元太、加治 正憲、阿瀬川周平
 森田 篤帆、田中 拓
 (慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座) 松元 一明
- P10-11 クロファジミンによる色素沈着の可逆性を定量化した 1 例…………… (175)
 (結核予防会複十字病院呼吸器センター) ○伊藤 優志、藤原 啓司、古内 浩司
 児玉 達哉、大江 崇、田中 良明
 吉山 崇、尾形 英雄、大田 健
 森本 耕三
 (明治薬科大学薬物動態学研究室) 渡辺 史也

非結核性抗酸菌症の症例報告①

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (地域医療機能推進機構北海道病院呼吸器内科) **長 井 桂**
 (筑波学園病院診療部呼吸器内科) **船 山 康 則**

- P11-1 アカラシアによる嘔吐後の気胸を契機として発症した *M.avium* による胸膜炎の一例…………… (175)
 (大分県立病院初期研修医) ○鳥島 舞
 (大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 首藤 久之、萩原 晟彦、藤島 宣大
 山本 堯、松本 紘幸、山末 まり
 吉川 裕喜、平松 和史、小宮 幸作
- P11-2 気管支拡張症を伴う 11 歳女児に発症した難治性肺 *M.intracellulare* 症の一例…………… (176)
 (国立病院機構南京都病院小児科) ○徳永 修
 (大阪府立病院機構大阪母子医療センター呼吸器・アレルギー科) 錦戸 知喜、奥村 純平
 (国立病院機構南京都病院呼吸器内科) 佐藤 敦夫
- P11-3 乳糜腹水を合併した HIV 感染症合併非結核性抗酸菌症の 1 例…………… (176)
 (がん・感染症センター都立駒込病院感染症科) 福島 一彰
- P11-4 入院早期からのケアアプローチが ADL 機能回復に有効であった一例…………… (176)
 (独立行政法人国立病院機構大牟田病院) ○石河 綾子、富田 杏佳、河津 優子
 片平 雄之、若松謙太郎
- P11-5 びまん性肺疾患に対する気管支肺胞洗浄液から非結核性抗酸菌が分離された 7 例の検討…………… (176)
 (佐野厚生総合病院呼吸器内科) ○渥美 秋成、井上 卓、浅見 貴弘
 中山 真吾
- P11-6 抗酸菌症に合併した気管支喘息に吸入ステロイド治療を追加し改善した肺 *mycobacterium avium* 感染症の一例…………… (177)
 (徳島県鳴門病院内科) ○三木 真理
 (国立病院機構大阪刀根山医療センター) 松木 隆典、三木 啓資、木田 博

- P11-7 クロファジミンによる小腸炎をきたし、各種検査を行った *M. abscessus* 症の一例 …………… (177)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター/
 医療法人鉄蕉会亀田総合病院呼吸器内科/医療法人社団こうかん会日本鋼管病院/鹿児島生協病院総合内科)
 ○ 栃木健太郎
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 伊藤 優志、大江 崇、藤原 啓司
 古内 浩司、児玉 達哉、大澤 武司
 國東 博之、田中 良明、奥村 昌夫
 吉山 崇、大田 健、森本 耕三
 (明治薬科大学薬物動態学研究室) 渡辺 史也
 (公益財団法人結核予防会複十字病院病理診断学科) 岡 輝明
- P11-8 クロファジミンカプセル併用にて改善を得た肺 *Mycobacterium abscessus* 症の1例 …………… (177)
 (三重大学医学部附属病院呼吸器内科) ○ 垂見 啓俊、平井 貴也、伊藤 稔之
 古橋 一樹、小久江友里恵、鶴賀 龍樹
 齋木 晴子、岡野 智仁、藤原 拓海
 都丸 敦史、藤本 源、小林 哲
- P11-9 サウジアラビア帰国後に発症し、内因性進展が疑われた肺 *Mycobacterium riyadhense* 感染症の1例
 …………… (177)
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) ○ 小澤 拓矢
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科/
 北里大学薬学部臨床医学(生体制御学)/北里大学北里研究所病院呼吸器内科)
 朝倉 崇徳
 (北里大学薬学部臨床医学(生体制御学)/北里大学北里研究所病院呼吸器内科) 鈴木 雄介
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター) 深野 華子
- P11-10 *M. shinjukuense* 治療中に発現したリファンピシンによる薬剤性肺障害の一例 …………… (178)
 (前橋赤十字病院呼吸器内科) ○ 蜂巢 克昌、星野 裕紀
- P11-11 *Mycobacterium szulgai* による重症肺感染症の一例；治療経過と文献的考察 …………… (178)
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科/慶應義塾大学医学部感染症学教室) ○ 鎌田 浩史
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) 朝倉 崇徳
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹

非結核性抗酸菌症の症例報告②

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (佐野厚生総合病院呼吸器内科) 浅見 貴弘

(山口赤十字病院内科・呼吸器内科) 國近 尚美

- P12-1 *Mycobacterium kiyosense* による播種性非結核性抗酸菌症の1例…………… (178)
 (豊橋市民病院呼吸器内科) ○ 福井 保太、牧野 靖
- P12-2 肺非結核性抗酸菌症患者の喀痰検体から分離された新種と思われる *Mycobacterium sp.* の一例 …… (178)
 (大阪はびきの医療センター感染症内科) ○ 前田 恭兵、永井 裕太、仮屋 勇希
 韓 由紀、橋本 章司、田村 嘉孝
 永井 崇之
 (大阪大学微生物病研究所感染症メタゲノム研究分野) 中村 昇太

- P12-3 *Mycobacterium chelonae* による菌血症の一例 …………… (179)
 (北播磨総合医療センター呼吸器内科) ○森川 真帆、松本 正孝、桂田 雅大
 高月 清宣
- P12-4 *Mycobacterium kiyosense* による化膿性脊椎炎を発症した1例…………… (179)
 (三重大学附属病院呼吸器内科) ○鶴賀 龍樹、都丸 敦史、平井 貴也
 垂見 啓俊、伊藤 稔之、小久江友里恵
 古橋 一樹、齋木 晴子、岡野 智仁
 藤原 拓海、藤本 源、小林 哲
- P12-5 *Mycobacterium colombiense* および *M. shimoidei* 混合感染による肺非結核性抗酸菌症の一例 …… (179)
 (さいたま市立病院呼吸器内科/慶應義塾大学医学部呼吸器内科) ○加賀谷 尽
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科/北里大学薬学部臨床医学(生体制御学)) 朝倉 崇徳
 (さいたま市立病院呼吸器内科) 鈴木 翔二、館野 博喜
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 小峰 壮史、深野 華子
- P12-6 *Mycobacterium shinjukuense* 肺感染症の3例 …………… (179)
 (東京都立多摩総合医療センター) ○木庭 太郎、松田 周一、山本 美暁
 和田 暁彦、高森 幹雄
- P12-7 *Mycobacterium wolinskyi* による肺非結核性抗酸菌症の1例 …………… (180)
 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座) ○鍋谷大二郎、金城 武士
 新垣 若子、池宮城七重、井手口周平
 古堅 誠、宮城 一也、原永 修作
 山本 和子
- P12-8 *Mycobacterium abscessus* による指腱鞘炎を抗菌剤なしで治療した1例 …………… (180)
 (能登総合病院内科) ○真智 俊彦
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) 高木 明子、御手洗 聡
 (結核予防会結核研究所) 吉山 崇
- P12-9 *Mycobacterium obuense* による播種性NTM症の1例 …………… (180)
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器免疫内科) ○内藤真依子、大平 貴華、谷崎 智史
 橋本 和樹、益弘健太郎、内藤祐二郎
 福島 清春、白山 敬之、三宅浩太郎
 平田 陽彦、武田 吉人、熊ノ郷 淳
- P12-10 肺 *Mycobacterium shimoidei* 症4例の臨床的特徴の検討 …………… (180)
 (独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器内科) ○下園 真人、加藤 貴史、武田 啓太
 榎本 優、佐藤 亮太、鈴木 純子
 大島 信治、守尾 嘉晃、佐々木結花
 松井 弘稔
- P12-11 肺非結核性抗酸菌症を疑う経過の中でエクソーム解析により嚢胞性線維症と診断した若年日本人3症例
 …………… (181)
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) ○飯塚 紳、田中 拓、小澤 拓矢
 長尾 元太、阿瀬川周平、加治 正憲
 鎌田 浩史
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科/北里大学薬学部生体制御学) 朝倉 崇徳
- P12-12 治療に難渋したオキゴンドウの母仔における非結核性抗酸菌症…………… (181)
 (沖縄美ら島財団附属動物病院) ○中島 愛理、植田 啓一
 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科)) 金城 武士、鍋谷大二郎
 新垣 若子、山本 和子

結核・非結核性抗酸菌症と他病原体との合併

6月6日(金) 11:10~12:10 ポスター会場1 (パシフィコ横浜 会議センター 303+304)

座長 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 林 悠太
(成田赤十字病院呼吸器内科) 安部 光洋

- P13-1 結核治療中に治療を要する慢性肺アスペルギルス症 (CPA) を合併した4例の臨床的検討 …… (181)
(国立病院機構東京病院呼吸器内科) ○渡辺 将人、鈴木 純子、中野 恵理
成本 治、島田 昌裕、守尾 嘉晃
佐々木結花、松井 弘稔
- P13-2 難治性肺サルコイドーシス症の加療中に肺 *Mycobacterium (M.) abscessus* 症を合併した一例 … (181)
(千葉大学医学部附属病院呼吸器内科) ○塩谷 優、川崎 剛、田島 弘貴
平間隆太郎、竹田健一郎、鈴木 拓児
- P13-3 *Apiotrichum mycotoxinovoras* (*Trichosporon mycotoxinovoras*) を原因とする慢性肺感染症の1例
…………… (182)
(独立行政法人国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) ○角田 陽平、小川 賢二、中川 拓
垂水 修、林 悠太
- P13-4 肺 *M. avium* 症 FC type に続発した慢性肺アスペルギルス症にイサブコナゾニウムを使用した一例
…………… (182)
(東北医科薬科大学医学部呼吸器内科) ○島田 大嗣
(埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科) 関 雅文
- P13-5 肺 *Mycobacterium avium* 感染症治療後に肺 *Penicillium non-marneffeii* 感染症を発症した1例 …… (182)
(慶應義塾大学医学部呼吸器内科/けいゆう病院呼吸器内科) ○小澤 拓矢
(けいゆう病院呼吸器内科) 加行 淳子
(けいゆう病院呼吸器内科/川崎市立川崎病院呼吸器内科) 塩見 哲也
- P13-6 治療により菌陰性を認めたが緑膿菌や真菌の合併などで死亡された *M.shinjukuense* 感染症の1例
…………… (182)
(佐野厚生総合病院内科) ○井上 卓、渥美 秋成、中山 真吾
浅見 貴弘

結核・非結核性抗酸菌症の疫学

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

座長 (千葉大学総合安全衛生管理機構) 潤 間 励子
(公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学部) 内村 和広

- P14-1 10年ぶりに実施した非結核性抗酸菌症の全国調査 (第一報) …… (183)
(慶應義塾大学医学部感染症学教室/AMED「非結核性抗酸菌症のサーベイランス、ゲノム情報を基盤とする病態形成機序、薬剤耐性機構、検査・診断法の確立及び新規治療薬等の開発に資する研究」班)
○南宮 湖、長谷川直樹
- P14-2 日本の戦後期における結核罹患率の検討 …… (183)
(公益財団法人結核予防会結核研究所臨床疫学部) ○内村 和広
(名古屋市立大学大学院看護学研究科) 河津 里沙

- P14-3 当院における若年～壮年期（20-65歳）の結核死亡例の検討 …………… (183)
 (国立病院機構東京病院) ○風張 広樹、鈴木 純子、佐藤 賢吾
 中野 恵理、渡辺 将人、成本 治
 島田 昌裕、守尾 嘉晃、佐々木結花
 松井 弘稔
- P14-4 ナショナルデータベース(NDB)解析による日本の肺非結核性抗酸菌症の疫学調査—地域別動向 … (183)
 (国立国際医療研究センター呼吸器内科/
 国立国際医療研究センター臨床研究センター/慶應義塾大学)
 ○森野英里子
 (国立国際医療研究センター臨床研究センター/東京医科歯科大学統合教育機構) 石丸 美穂
 (国立国際医療研究センター呼吸器内科/国立国際医療研究センター臨床研究センター) 寺田 純子
 (聖路加国際大学公衆衛生大学院) 高橋エミリー
 (国立国際医療研究センター呼吸器内科) 高崎 仁、放生 雅章
 (結核予防会結核研究所) 御手洗 聡
 (慶應義塾大学) 長谷川直樹
 (複十字病院) 森本 耕三
- P14-5 最近の当院における結核入院患者の傾向…………… (184)
 (結核予防会複十字病院呼吸器内科) ○奥村 昌夫、児玉 達哉、大澤 武司
 大江 崇、島矢未奈子、吉山 崇
 尾形 英雄、大田 健
- P14-6 大阪市における肺結核治療成功後の再発要因の検討…………… (184)
 (大阪市保健所感染症対策課) ○金 鈴香、小向 潤、江川 裕子
 高橋 峰子
 (大阪健康安全基盤研究所) 山本 香織
- P14-7 大阪市における多剤耐性結核(MDR-TB)患者の生存解析…………… (184)
 (大阪市保健所感染症対策課) ○康 史朗、小向 潤、金 鈴香
 江川 裕子、井村 元気、高橋 峰子
 中山 浩二
 (大阪市健康局) 吉田 英樹
- P14-8 大阪府におけるコッホ現象事例(530例)の動向調査結果の報告…………… (184)
 (大阪府健康医療部) ○永井 仁美
 (大阪府泉佐野保健所) 柴田 敏之
- P14-9 日本の単一施設における気管支拡張症の疫学：後方視的コホート研究…………… (185)
 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学教室/
 大阪大学微生物病研究所生体防御研究部門自然免疫学分野)
 ○濱田菜々子
 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学教室/
 大阪大学微生物病研究所生体防御研究部門自然免疫学分野/
 大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学)
 福島 清春、橋本 和樹、安部 祐子
 船内 敦司
 (大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 木田 博

 結核の集団感染・接触者健診対策・保健所の活動/病診連携

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

 座長 (慶應義塾大学保健管理センター) 西村 知 泰
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 座 間 智 子

- P15-1 高齢者施設における結核患者早期発見に向けた取組…………… (185)
 (文京保健所予防対策課) ○田中 利奈、石崎 怜奈、小島 絵里
 (文京保健所保健サービスセンター) 亀山 未来
 (文京保健所) 矢内真理子
- P15-2 東京都内保健所における結核診査会の実施状況と今後について…………… (185)
 (世田谷保健所) ○高橋 千香、向山 晴子
- P15-3 COVID-19 流行期の静岡県中部地区における新規結核患者結核予防可能例の検討…………… (185)
 (藤枝市立総合病院呼吸器センター) ○小清水直樹、田中 和樹、平松 俊哉
- P15-4 非結核性抗酸菌症 HIV 患者に対する針刺し事故対応の実際…………… (186)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院) ○吉垣ゆかり、鈴木 裕章、三崎 恭子
 三浦 瑞枝、井上恵美子、守谷真由美
- P15-5 患者支援の質の標準化を目的とした DOTS 会議のマニュアル化…………… (186)
 (文京保健所予防対策課) ○田中 利奈、石崎 怜奈、小島 絵里
 (文京保健所保健サービスセンター) 亀山 未来
 (文京保健所長) 矢内真理子
- P15-6 結核患者における薬薬連携のための施設間情報連絡書の作成～アンケート調査結果を踏まえて～… (186)
 (国立病院機構東名古屋病院薬剤部) ○中村あゆみ、平野 淳、滝 久司
 (国立病院機構名古屋医療センター薬剤部) 井上 佑美
 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 林 悠太、中川 拓
- P15-7 大分県における地域の結核診療支援…………… (186)
 (大分大学医学部結核医療体制強化事業/
 大分県結核診療支援センター/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座)
 ○山末 まり
 (大分県結核診療支援センター/独立行政法人国立病院機構西別府病院) 村山 圭美
 (大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課) 吉田 佳世、池邊 淑子
 (大分市保健所保険予防課) 竹野祐紀子
 (独立行政法人国立病院機構西別府病院) 瀧川 修一
 (大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 小宮 幸作
- P15-8 当院の非結核性抗酸菌症専門外来開設後の状況と今後の課題…………… (187)
 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科) ○伊藤 明広、石田 直
 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院臨床検査・感染症科) 橋本 徹
- P15-9 当院の非結核性抗酸菌症専門外来受診後の患者アンケート調査の検討…………… (187)
 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科) ○伊藤 明広、石田 直
 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院臨床検査・感染症科) 橋本 徹
- P15-10 非結核性抗酸菌症外来患者における薬剤師介入の試み…………… (187)
 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部) ○佐藤 可奈
 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科) 伊藤 明広、石田 直

 外国人結核

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

座長 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南 宮 湖
(国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 高 崎 仁

- P16-1 外国出生若年者を発端とした結核感染伝播事例…………… (187)
 (大阪健康安全基盤研究所) ○山本 香織、田丸 亜貴
 (大阪市保健所) 康 史朗、小向 潤、浅野 瑞穂
 (神戸市健康科学研究所) 岩本 朋忠、有川健太郎
 (東京都健康安全研究センター) 安中めぐみ
 (大阪公立大学) 和田 崇之
 (結核予防会ネパール事務所) 下内 昭
- P16-2 日本で診断後に帰国し、結核治療開始に時間を要した外国出生腸結核患者の事例：社会的要因の観点から…………… (188)
 (結核予防会結核研究所臨床疫学部/国立国際医療研究センター呼吸器内科) ○李 祥任
 (国立国際医療研究センター呼吸器内科) 高崎 仁
 (結核予防会結核研究所臨床疫学部) 大角 晃弘
- P16-3 本邦の外国人結核、特に多剤耐性結核や潜在性結核に対する調査研究 (4) …………… (188)
 (近畿中央呼吸器センター) ○岡田 全司、喜多 洋子、露口 一成
 (茨城東病院) 齋藤 武文
 (結核予防会ネパール事務所) 下内 昭
 (神戸市健康局) 藤山 理世
 (京都予防医学センター) 鈴木 克洋
- P16-4 外国出身者リンパ節結核の診断遅延に関する検討…………… (188)
 (前橋赤十字病院感染症内科) ○林 俊誠、佐藤 晃雅
- P16-5 当院における外国出生結核患者の検討…………… (188)
 (国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) ○高崎 仁、橋本 理生、草場 勇作
 森野英里子、辻本 佳恵、石田あかね
 鈴木 学、泉 信有、軒原 浩
 放生 雅章
- P16-6 「Kikoku-TB Care」を活用し、母国で結核治療に繋がった外国出生患者の支援…………… (189)
 (群馬大学医学部附属病院感染制御部) ○大嶋 圭子、徳江 豊
 (群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科) 古賀 康彦
 (渋川保健福祉事務所) 武者 成美
 (群馬県感染症・疾病対策課) 江口 奈々、櫻井 昇幸
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 座間 智子
- P16-7 日本で結核と診断され治療途中で帰国した外国出生者への継続支援 「帰国時結核治療支援」事業1年目の評価と課題…………… (189)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部) ○座間 智子、平尾 晋、浦川美奈子
 太田 正樹
 (公益財団法人結核予防会事業部) 永田 容子

- P16-8 神戸市における外国生まれ結核患者のコロナ禍後の現状…………… (189)
 (神戸市保健所) ○藤山 理世、岡島 花江、楠 信也
 (神戸市健康科学研究所) 有川健太郎、岩本 朋忠
 (結核予防会ネパール事務所/結核研究所) 下内 昭
- P16-9 在留外国人における結核届出率の傾向と背景の検討…………… (189)
 (結核予防会結核研究所臨床疫学部/国立国際医療研究センター呼吸器内科/
 順天堂大学大学院医学研究科グローバルヘルスリサーチ研究室)
 ○李 祥任
 (結核予防会結核研究所臨床疫学部) 大角 晃弘
- P16-10 日本入国前結核健診で診断される年間の活動性結核患者数の推定…………… (190)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所臨床疫学部・入国前結核スクリーニング精度管理センター)
 ○大角 晃弘、李 祥任
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 山田 紀男
- P16-11 当院で経験した外国出生結核7例から考える課題…………… (190)
 (札幌医科大学医学部呼吸器・アレルギー内科学講座/札幌医科大学附属病院感染制御部)
 ○黒沼 幸治、齋藤 充史
 (札幌医科大学医学部呼吸器・アレルギー内科学講座) 錦織 博貴、千葉 弘文
- P16-12 入院継続し外来治療へ移行することができた外国出生多剤耐性結核患者2名の事例…………… (190)
 (独立行政法人国立病院機構東名古屋病院) ○清水 風花、林 悠太、角田 陽平
 中村あゆみ
- P16-13 検診異常で受診し、喀痰抗酸菌塗抹陰性で気管支鏡検査を実施した後に化学療法を行った高蔓延国出身外国人肺結核患者の臨床経過について…………… (190)
 (聖隷三方原病院呼吸器センター内科) ○杉山 未紗、稲葉龍之介、加藤 慎平
 長谷川浩嗣、松井 隆、横村 光司

LTBIの診断と治療

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

座長 (総合南東北病院呼吸器内科) 長 谷 衣 佐 乃
 (国立病院機構北海道医療センター呼吸器内科) 網 島 優

- P17-1 沖縄県の事情からLTBIの適正診療を再考する…………… (191)
 (琉球大学病院総合臨床研修・教育センター/琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学)
 ○原永 修作
 (琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学) 井手口周平、鍋谷大二郎、宮城 一也
 山本 和子
- P17-2 潜在性結核感染症(LTBI)治療の変化について(第二報)…………… (191)
 (結核研究所) ○高柳喜代子
 (結核研究所研究主幹) 吉山 崇
 (結核研究所対策支援部) 座間 智子
 (結核研究所臨床疫学部) 内村 和広
 (結核研究所入国前結核スクリーニング精度管理センター) 杉浦 江
 (名古屋市立大学) 河津 里沙

- P17-3 潜在性結核感染症（LTBI）HR2 剤治療の要因について …………… (191)
 （名古屋市立大学国際保健看護学）○河津 里沙
 （公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部）高柳喜代子、座間 智子
 （公益財団法人結核予防会結核研究所研究主幹）吉山 崇
 （公益財団法人結核予防会結核研究所入国前結核スクリーニング精度管理センター）杉浦 江
 （公益財団法人結核予防会結核研究所臨床疫学部）内村 和広
- P17-4 当院における 2 剤併用療法による潜在性結核感染症（LTBI）治療の現状 …………… (191)
 （大阪はびきの医療センター感染症内科）○永井 裕太、前田 恭兵、仮屋 勇希
 韓 由紀、橋本 章司、永井 崇之
 （大阪はびきの医療センター感染症内科/大阪はびきの医療センター臨床検査科）田村 嘉孝
- P17-5 潜在性結核感染症治療後の結核発病者の検討 …………… (192)
 （藤田医科大学呼吸器内科学）○堀口 智也、澤田 千晶、長谷川 新
 重康 善子、廣地真理子、伊奈 拓摩
 相馬 智英、渡邊 俊和、岡村 拓哉
 後藤 康洋、橋本 直純、今泉 和良
- P17-6 接触者検診で発見した潜在性結核感染における IGRA の比較検討 …………… (192)
 （日本赤十字社長崎原爆諫早病院）○福島喜代康、久保 亨、永吉 洋介
 福田 実
 （長崎大学呼吸器内科）高園 貴弘、迎 寛
- P17-7 結核接触者健診 QFT 検査における本邦出生と外国出生者との陽性率の比較検討 …………… (192)
 （公益財団法人宮城県結核予防会）○畑中かおる、櫻庭 裕子、大矢内文美恵
 蓮池 美樹、鈴木 修治、八重柏政宏
 高橋 里美、齋藤 泰紀、渡辺 彰
- P17-8 結核接触者健診における QFT 検査の感度・特異度の検討 …………… (192)
 （公益財団法人宮城県結核予防会）○櫻庭 裕子、畑中かおる、大矢内文美恵
 蓮池 美樹、鈴木 修治、八重柏政宏
 高橋 里美、齋藤 泰紀、渡辺 彰
- P17-9 IGRA 検査(QFT/T-スポット検査)精度評価報告（特定非営利活動法人結核感染診断研究会精度評価委員会） …………… (193)
 （一般社団法人免疫診断研究所）○原田 登之、樋口 一恵
 （公益財団法人結核予防会結核研究所）吉山 崇
 （独立行政法人国立病院機構東京病院感染症科）永井 英明

 抗酸菌分子疫学

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所入国前結核スクリーニング精度管理センター/抗酸菌部) 高木 明子
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 吉田 光範

- P18-1 長崎県内地域別肺 MAC 症例の菌種比率と水質の関連性の評価…………… (193)
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学/
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学/長崎大学病院呼吸器内科)
○入船 理、高園 貴弘
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学/長崎大学病院呼吸器内科) 芦澤 博貴、迎 寛
(長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学薬学部) 平山 達朗
(長崎大学病院呼吸器内科) 吉田 将孝、武田 和明、岩永 直樹
(長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染症医療人育成センター) 井手昇太郎
(長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染制御教育センター) 田代 将人
(長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院臨床研究センター) 細萱 直希
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学/長崎大学病院感染制御教育センター)
泉川 公一
(長崎大学病院検査部) 柳原 克紀
- P18-2 浴槽水環境が肺 NTM 症患者の臨床経過に及ぼす影響の検討…………… (193)
(明治薬科大学薬物動態学研究室/公益財団法人結核予防会複十字病院薬剤部) ○渡辺 史也
(公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 伊藤 優志、大江 崇、藤原 啓司
古内 浩司、児玉 達哉、平松美也子
白石 裕治、大田 健
(公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター/
公益財団法人結核予防会複十字病院臨床医学研究科)
森本 耕三
- P18-3 院内の水道系から *M. abscessus* 感染が疑われた患者像の検討…………… (193)
(岩手医科大学附属病院呼吸器内科/岩手医科大学附属病院感染制御部) ○長島 広相
(岩手医科大学附属病院呼吸器内科) 片桐 紘、堀井 洋祐、川田 一郎
(岩手医科大学臨床検査医学・感染症学講座) 仲村 究
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 星野 仁彦
- P18-4 神戸市で 2016-2023 年に分離された新規結核登録患者由来株の網羅的ゲノム疫学解析…………… (194)
(神戸市健康科学研究所感染症部) ○有川健太郎、岩本 朋忠
(神戸市保健所) 藤山 理世、楠 信也
(結核予防会ネパール事務所/結核研究所) 下内 昭
- P18-5 神戸市の新規結核患者由来株を網羅した結核菌ゲノム系統樹に基づく遺伝系統疫学的解析…………… (194)
(神戸市健康科学研究所) ○岩本 朋忠、有川健太郎
(神戸市保健所) 藤山 理世、楠 信也
(結核予防会ネパール事務所/結核研究所) 下内 昭
- P18-6 サブクローンを加味した結核友人間感染事例の追究…………… (194)
(山形県衛生研究所) ○鈴木 麻友、瀬戸 順次
(山形県最上保健所) 山田 敬子
(山形県病院事業局) 阿彦 忠之

- P18-7 *M. abscessus* subsp. *massiliense* の院内感染事例におけるゲノム疫学調査による伝播の推定と感染防止介入の有効性評価…………… (194)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) ○吉田志緒美、小林 岳彦
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/
 国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染症内科/国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科)
 露口 一成、倉原 優
 (大阪大学微生物病研究所) 松本 悠希、中村 昇太
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科) 田中 悠也
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡

新しい抗酸菌検査

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

- 座長 (大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座/医学部附属病院感染制御部) **山本 剛**
 (長崎大学病院感染症医療人育成センター) **井手 昇太郎**

- P19-1 喀痰検体からの NTM 迅速診断を可能にする NALC-Seq 法の開発…………… (195)
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学/
 大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学教室/
 大阪大学微生物学研究所感染症メタゲノム研究分野)
 ○橋本 和樹、福島 清春
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学/
 大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学教室)
 船内 敦司、安部 祐子
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学) 内藤真依子
 (大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 木田 博
- P19-2 NGS を用いた新しい分子疫学解析法: Digital VNTR…………… (195)
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学/
 大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学教室/
 大阪大学微生物学研究所感染症メタゲノム研究分野)
 ○橋本 和樹、福島 清春
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学/
 大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学教室)
 船内 敦司、安部 祐子
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学) 内藤真依子
 (大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 木田 博
- P19-3 HRM 解析法によるクラリスロマイシン耐性 MAC 株の検出…………… (195)
 (名城大学薬学部/独立行政法人国立病院機構東名古屋病院臨床研究部) ○横山 陽、岩間 礼華
 番場真友子、三浦 拳輝
 (名城大学薬学部) 打矢 恵一、輪島 丈明
 (独立行政法人国立病院機構東名古屋病院臨床研究部) 中川 拓、小川 賢二

- P19-4 結核菌の迅速な網羅的薬剤耐性予測法の臨床精度評価…………… (195)
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) ○高木 明子、近松 絹代、青野 昭男
 五十嵐ゆり子、下村 佳子、細谷真紀子
 森重 雄太、村瀬 良朗
 (結核予防会複十字病院臨床検査部) 水野 和重
 (結核予防会複十字病院呼吸器センター) 奥村 昌夫
 (結核予防会複十字病院呼吸器センター/結核予防会結核研究所) 吉山 崇
 (近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 吉田志緒美、露口 一成
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科基礎抗酸菌症学) 御手洗 聡
- P19-5 新規遺伝子定量装置 GeneSoc による結核菌群遺伝子検出能の比較検討 …………… (196)
 (長崎大学病院検査部) ○松本 慧介、川元 康嗣
 (長崎大学病院検査部/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野) 小佐井康介、柳原 克紀

抗酸菌症の外科療法

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

座長 (社会医療法人宏潤会大同病院呼吸器外科) **山田 勝雄**

(国立病院機構神奈川病院呼吸器外科) **杉浦 八十生**

- P20-1 肺 NTM 症に対する外科治療後の肺切除断端に腫瘤影を形成した症例の検討…………… (196)
 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) ○林 悠太、角田 陽平、垂水 修
 中川 拓、小川 賢二
 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器外科/宏潤会大同病院呼吸器・心臓血管外科) 山田 勝雄
- P20-2 肺 *Mycobacterium abscessus subsp. abscessus* 症に対する二期的両側肺切除術の一例…………… (196)
 (国立病院機構茨城東病院呼吸器外科) ○中川 隆行、島内 正起
 (国立病院機構茨城東病院呼吸器内科) 野中 水、金澤 潤、齋藤 武文
 石井 幸雄
 (国立病院機構茨城東病院病理部) 南 優子
- P20-3 頸部結核性リンパ節炎にたいする局所陰圧閉鎖療法の経験…………… (196)
 (結核予防会複十字病院呼吸器外科) ○下田 清美、平松美也子、荒井他嘉司
 白石 裕治
- P20-4 *Mycobacterium xenopi* の1例から考える肺切除術の役割…………… (197)
 (富岡総合病院呼吸器外科) 渥実 潤
- P20-5 肺 MAC 症における外科的治療前後の MAC 抗体の変動と術後再燃再発との関連についての検討
 ……………(国立病院機構東京病院呼吸器外科) ○四元 拓真、深見 武史 (197)
- P20-6 肺非結核性抗酸菌症合併肺癌外科症例の検討…………… (197)
 (独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器外科) ○杉浦八十生、藤本 博行、橋詰 壽律
 (独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器内科) 田中阿利人、大久保泰之、布施川久恵
 河合 治、荒木 規仁、中村 守男
- P20-7 クラリスロマイシン(CAM)耐性肺 *Mycobacterium avium* (MAV) 症に対し、アミノグリコシド(AG)
 系抗菌薬を含む化学療法と肺切除療法により、喀痰培養陰性化が達成された1例…………… (197)
 (独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器内科) ○中村 守男、田中阿利人、荒木 規仁
 河合 治、布施川久恵、大久保泰之
 (独立行政法人国立病院機構神奈川病院呼吸器外科) 杉浦八十生、橋詰 壽律

 結核・非結核性抗酸菌症の国際協力・国際研究

6月7日(土) 10:50~11:50 ポスター会場2 (パシフィコ横浜 会議センター 315)

座長 (大阪公立大学生活科学研究科) 和田 崇之
(公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部) 太田 正樹

- P21-1 結核患者の治療成績に関連する因子の検討, ルサカ、ザンビア, 2022 (198)
(公財) 結核予防会結核研究所対策支援部/Japan Anti-Tuberculosis Association, Zambia)
太田 正樹
- P21-2 ザンビアでの結核核酸増幅法検査導入に伴う菌陽性結核や治療成功率への影響 (198)
(公益財団法人結核予防会結核研究所) ○平尾 晋、太田 正樹
- P21-3 第3回カンボジア全国結核有病率調査への技術支援—コミュニティにおける胸部X線スクリーニングへのAI判定導入の評価 (198)
(公益財団法人結核予防会国際部/公益財団法人結核予防会結核研究所) ○小野崎郁史、岡田 耕輔
(公益財団法人結核予防会結核研究所) 吉山 崇、高柳喜代子、Khay Mar Aung
山田 紀男
- P21-4 南アジアおよび西アジアにおける非結核性抗酸菌の疫学的実態に関するシステマティックレビュー (198)
(慶應義塾大学医学部) ○長坂 健佑
(慶應義塾大学医学部感染症学教室) 長谷川直樹、南宮 湖
- P21-5 アフリカにおける非結核性抗酸菌の疫学的実態に関するシステマティックレビュー (199)
(慶應義塾大学医学部) ○中村 友則
(慶應義塾大学医学部感染症学教室) 長谷川直樹、南宮 湖
- P21-6 南米における非結核性抗酸菌の疫学的実態に関するシステマティックレビュー (199)
(慶應義塾大学医学部医学科) ○遠藤 和輝
(慶應義塾大学医学部感染症学教室) 長谷川直樹、南宮 湖
- P21-7 東南アジアにおける肺非結核性抗酸菌症の罹患率・診療実態の調査 (199)
(慶應義塾大学医学部) ○井上 雅貴
(慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹
(北里大学薬学部) 朝倉 崇徳
(慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室) 上菘 義典
- P21-8 ネパールにおける結核菌検査のTB-LAMP法および顕微鏡塗抹検査の感度の比較研究 (199)
(公益財団法人結核予防会ネパール事務所/公益財団法人結核予防会結核研究所) ○下内 昭
(公益財団法人結核予防会国際部) 平野有希子
(公益財団法人結核予防会結核研究所/公益財団法人結核予防会国際部) 小野崎郁史、岡田 耕輔
(公益財団法人結核予防会結核研究所/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 御手洗 聡
- P21-9 フィリピンの一次医療施設における胸部X線検査(CXR)を積極的に活用した結核患者発見強化の取り組み (200)
(公益財団法人結核予防会結核研究所) ○菅本 鉄広、岡田 耕輔、小野崎郁史
山田 紀男

- P21-10 フィリピンにおける抗酸菌症疫学的実態の解明に向けた国際共同研究計画について…………… (200)
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) ○南宮 湖、長谷川直樹
 (慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室) 上蓑 義典
 (北里大学薬学部) 朝倉 崇徳
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 吉田 光範
 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡
- P21-11 Prevalence of asymptomatic tuberculosis(TB) cases from the third national TB prevalence survey in Cambodia and associated factors …………… (200)
 (Research Institute of Tuberculosis/Japan Anti-Tuberculosis Association, Tokyo, Japan.)
 ○Khay Mar Aung、Ikushi Onozaki、Norio Yamada
 Kosuke Okada
- P21-12 Multicenter Collaborative Study on Multidrug-Resistant Tuberculosis in Japan …………… (201)
 (Department of Epidemiology and Clinical Research, Research Institute of Tuberculosis)
 ○Kaung Si Thu、Tomohiko Ukai
 (Department of Mycobacterium Reference and Research, Research Institute of Tuberculosis/Ryoken)
 Akiko Takaki、Satoshi Mitarai
 (Respiratory Disease Center, Fukujuji Hospital, Japan Anti-Tuberculosis Association/Ryoken)
 Takashi Yoshiyama
- P21-13 現代感染症医療に息づく北里柴三郎先生の功績—感染症法とBCGからの考察— …………… (201)
 (慶應義塾大学医学部) ○松田 佳興、長澤 百笑、戸崎 真脩
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹